

MATSUMOTO CITY  
MUSEUM  
OF ART

松本市美術館 年報 令和4年度

---

ANNUAL REPORT 2022

## [ 目次 ]

1	基本方針	004
2	展覧会	
2-1	展覧会一覧	006
2-2	企画展覧会	007
2-3	コレクション展示	030
2-4	記念展示室	036
2-5	池上百竹亭コレクション展示室	042
2-6	オープンギャラリー	044
3	資料	
3-1	収蔵作品一覧	047
3-2	新収蔵作品	048
3-3	資料の保存・修復	050
3-4	貸出作品	051
4	教育普及	
4-1	教育普及事業	053
4-2	アートライブラリー	056
4-3	友の会	057
5	広報・出版	
	刊行物	059
6	施設の利用	063
7	その他の入館者サービス	
7-1	ミュージアムショップ	066
7-2	その他	067
8	開館状況・観覧者数一覧	069
9	松本市美術館の概要	
9-1	沿革	071
9-2	施設	072
9-3	関係委員・職員名簿	074
9-4	関係例規	075
9-5	利用案内	083

### 凡 例

- ・本文中の制作年は、原則として西暦表記で統一しているが、展覧会の性質上、和暦等の表記がふさわしい場合は併記としている。制作年が不明なものは、不詳と記載した。
- ・作品寸法は、特別な表記がない場合、平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行きである。
- ・松本市美術館所蔵の作品については、所蔵の記載を省略した。
- ・文中敬称略、順不同。



# 基本方針

## 美術館がめざす目標

美術館は市民の芸術文化の振興をはかり、市民憲章に標榜する文化の香り高い豊かな市民生活に資するため、より広い世界の美術・文化を紹介し、新たな美術を育む創造の母胎となることをめざします。

## 基本的な性格

市民が心をひらく学びの森として、地域に根ざす総合美術館とします。

## 美術館がめざす四つの柱

美術館は次の四つの柱を基本として構成されています。

鑑賞の場—美術館の根幹的な目的である美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出します。

表現の場—美術館のもう一つの顔。先人が培った郷土の美術遺産の顕彰と未来への発展を展望する美術遺産の創成を支えます。

学習の場—「学びの森をめざして」は、本市の生涯学習を推進する市民の合言葉。美術館は芸術分野の学習拠点としてその役割を担います。

交流の場—美術館は鑑賞・表現・学習の場であるとともに市内外、国内外との国際交流を担う場としてグローバルな役割を果たします。

## 総合的な視野に立って

国宝松本城、国宝旧開智学校校舎を始めとする豊かな文化遺産と北アルプス、美ヶ原高原など恵まれた自然環境を因子として地域に根ざす美術・音楽・演劇など広い視野に立って総合芸術の振興を図ります。



## 松本市美術館のシンボルマークとロゴデザインについて

田中一光 (1930 - 2002年)

日本を代表する山岳都市松本市に新しく出来たこの美術館は美しく雄大な北アルプスの山々 (Mountains) を背景にしています。また深い緑に包まれた自然との調和を考え合わせた市民に開かれた美術館 (Museum) です。

大きな屋根のような M (Mountain) と、しっかりと伝統に根ざした M (Museum) の二つの M をモチーフに力強くシンボリックにデザインしました。



# 展覧会一覧

展覧会名	会期/会場	開館日数	入場者数(人)	1日平均(人)
企画展覧会 1 よみがえる正倉院宝物 —再現模造にみる天平の技—	2022年4月21日(木)～6月12日(日) 企画展示室	47	25,587	544
企画展覧会 2 草間彌生 版画の世界	2022年7月23日(土)～9月25日(日) 企画展示室	61	45,390	744
企画展覧会 3 文化・観光交流協定締結10周年/松本市美術館開館20周年/市民タイムス創刊50周年 鹿児島市立美術館 名品展	2022年10月8日(土)～11月27日(日) 企画展示室	44	18,477	420
企画展覧会 4 70歳以上の公募による美術展 第9回 老いるほど若くなる	2023年2月18日(土)～3月26日(日) 企画展示室	32	9,599	300
コレクション展示 1 特集展示 草間彌生 魂のおきどころ	第1期:2022年4月21日(木)～7月10日(日) 第2期:2022年7月12日(火)～10月23日(日) 第3期:2022年10月25日(火)～2023年2月12日(日) 第4期:2023年2月14日(火)～5月21日(日) コレクション展示室 A・B・C			
コレクション展示 2 第2期コレクション展示	2022年7月12日(火)～10月16日(日) 上條信山記念展示室、田村一男記念展示室、池上百竹亭コレクション展示室			
コレクション展示 3 第4期コレクション展示	2023年1月11日(水)～4月23日(日) 上條信山記念展示室、田村一男記念展示室			
記念展示室 1 上條信山記念展示室 1 日展出品作を中心に 3 拓本で巡る県外・国外に建つ上條信山揮毫碑、昭和の書① ※2・4期は資料室展示のみ	第1期:2022年4月21日(木)～7月10日(日) 第2期:2022年7月12日(火)～10月16日(日) 第3期:2022年10月18日(火)～2023年1月9日(月祝) 第4期:2023年1月11日(水)～4月23日(日)	297	69,021	232
記念展示室 2 田村一男記念展示室 1 日展出品作を中心に 3 晩秋から冬、桜島とともに ※2・4期は資料室展示のみ				
池上百竹亭コレクション展示室 池上百竹亭コレクション 1 コレクションの始まり 2 无声会の画家と橋口五葉 3 茶の湯の世界	2022年4月21日(木)～7月10日(日) 2022年10月18日(火)～2023年1月9日(月祝) 2023年1月11日(水)～4月23日(日)			
オープンギャラリー コレクション特設展示	通年			

※大規模改修事業に伴い2022年4月20日まで休館。



■会期

2022年4月21日(木)～6月12日(日)

■会場

企画展示室、多目的ホール

■入場者

25,587人(1日平均544人)

■主催

宮内庁正倉院事務所、松本市美術館、信濃毎日新聞社、朝日新聞社、NHK長野放送局

■学術協力

奈良国立博物館、九州国立博物館

■協賛

ライブアートブックス

■後援

日本工芸会、市民タイムス、MGプレス

■協力

イオンモール松本

■担当学芸員

大島 武、稲村 純子、林 風美

〔趣旨・総括〕

約1年間の改修工事を終え、開館20周年の節目にリニューアルオープン記念第一弾として、正倉院宝物の再現模造による特別展を開催した。

本展は、明治時代から行われてきた再現模造事業で製作された数百点におよぶ多彩な分野の作品から全6章立てで選りすぐりの約80件を出品。第1章では、本展の目玉であった「模造 螺鈿紫檀五絃琵琶」ほか楽器類や東大寺大仏開眼会の際に演じられた伎楽の面や衣装など。第2章は年中行事に関わる儀式具、東大寺ゆかりの仏具や箱・几の数々を展示。第3章では、絹織物の基本とも言える平織りの紵、綾、羅、そして複雑な文様を表した錦など多彩な織り技法による復元品を紹介。第4章は鏡をはじめ薫炉・厨子・双六局などの調度品や、帯・刀子などの装身具。第5章では大刀など古代の武器・武具を、第6章は、東大寺写経所が伝えた帳簿群を中心に、多色コロタイプ印刷による精緻な模造により正倉院文書の全体像に迫った。

およそ1,300年の時を経て、現代の名工たちが熟練の技とCTスキャンなど最新科学を融合させ、忠実に再現した製作当初の天平の美や品格に触れていただけることが大きな見どころであり、特に平成最後の年に8年がかりで完成した「模造 螺鈿紫檀五絃琵琶」は多くの来館者の注目を集めた。その近くでは模造による琵琶の音色も再現し、より一層会場効果を増すことができた。また、正倉院宝物に見られる特殊な技法や素材に焦点を当て、模造製作の際の映像や関連資料なども紹介。再現模造事業を通じて日本の伝統技術の高さや継承していく意義を感じていただけたものと思う。

関連プログラムでは、当館館長がコーディネーターとなり前宮内庁正倉院事務所長の西川明彦氏と長野県出身の刀匠で「黄楊木把鞘刀子」刀身再現者の宮入法廣氏との鼎談会を開催。事務所側、製作者側それぞれの立場から正倉院宝物や模造の再現について裏話を伺うことができた。2コマ企画したワークショップは、いずれも受付開始後すぐに定員に達するほど人気が高く、館長によるスライドトークも好評を得た。



## ■関連行事

## (1) 鼎談会「正倉院宝物の再現模造」

日時：6月4日(土)午後2時～3時30分

鼎談者：西川明彦(前宮内庁正倉院事務所  
長)宮入法廣(黄楊木把鞘刀子の刀身  
再現者、刀匠)

小川稔(松本市美術館館長)

会場：多目的ホール

料金：無料

参加者数：59人

(2) ワークショップ「アートに挑戦！ようこそ  
漆工芸の世界へ」

## ①「象嵌螺鈿」

日時：5月15日(日)午前10時～午後4時

講師：深井公(中信美術会会員・伝統工芸  
士)

会場：講座室・市民アトリエ

対象：小学校高学年～大人

料金：3,000円

参加者数：20人

## ②「沈金」

日時：5月22日(日)午後1時～4時

講師：石本愛子(中信美術会会員・現代の  
名工)

会場：講座室・市民アトリエ

対象：小学校高学年～大人

料金：3,000円

参加者数：20人

## (3) 小川稔館長によるスライドトーク

日時：5月12日(木)・19日(木)・  
26日(木)

各日午後2時～3時

参加者数：計74人(5月12日：30人、  
19日：21人、26日：23人)

## ■印刷物

ポスター B2判(カラー)、1,800部

チラシ A4判(両面カラー)、40,000部

## ■図録

規格/A4判変形(280×225mm)、総頁数224  
ページ

作品図版/カラー 128点

参考図版/カラー 55点、モノクロ56点



[ 出品リスト ]

■第1章 楽器・伎楽

No.	作品名	製作年	製作者	寸法(cm)	員数	所蔵
1	磁鼓	昭和62年 (1987)	加藤卓男	高38.3 口径22.5	一口	宮内庁正倉院事務所
2	洞簫	明治時代 (19世紀)	奈良博覧会社	①長40.6 ②長39.0 ③長38.3	三管	奈良国立博物館
3	甘竹簫	昭和48年 (1973)	坂本曲齋(二代)	幅31.0 高28.0 厚2.3	一口	宮内庁正倉院事務所
4	漆槽箏篋	明治27年 (1894)	稲生真履	総高173.0 横80.5	一張	宮内庁正倉院事務所
6	金銀平文琴	明治12年 (1879)	小川松民 他	全長113.3 縦28.5	一張	東京国立博物館
8	螺鈿紫檀阮咸	明治32年 (1899)		長101.8 幅38.5	一面	東京国立博物館
9	桑木阮咸	明治32年 (1899)	稲生真履 田中藤次郎 前田貴業	長101.2 幅37.5	一面	東京国立博物館
10	螺鈿紫檀五絃琵琶	平成23～30年 (2011～18)	木地:坂本曲齋(三代) 象嵌:新田紀雲 加飾:北村昭齋・松浦直子 絃:丸三ハシモト株式会社	全長108.0 最大幅30.9	一面	宮内庁正倉院事務所
11	螺鈿紫檀五絃琵琶	明治31年 (1898)	稲生真履 田中藤次郎 浅井寛哉	全長107.0 幅33.3	一面	東京国立博物館
12	模写 紫檀木画槽琵琶捍撥画	平成30年 (2018)	松浦直子	長41.9 幅18.0(画部分)	一枚	宮内庁正倉院事務所
14	縹地大唐花文錦	平成3年 (1991)	株式会社龍村美術織物	幅113.6 縦150.3 横135.0 幅5.8 (パネル)	一枚	宮内庁正倉院事務所
15	紅牙撥鐵撥	昭和58年 (1983)	吉田文之	長20.0 上端幅5.7 厚0.1～0.4	一枚	宮内庁正倉院事務所
17	獅子面	平成16～18年 (2004～06)	財団法人美術院 国宝修理所	縦30.0 横32.2 奥行44.8	一口	宮内庁正倉院事務所
20	伎楽人形 迦樓羅	昭和時代 (20世紀)	株式会社龍村美術織物	像高約175.0	一具	奈良国立博物館

■第2章 仏具・箱と几・儀式具

No.	作品名	製作年	製作者	寸法(cm)	員数	所蔵
21	黄銅合子	平成16年 (2004)	鑄造:般若勘溪 彫金:浦島紫星	径8.5 高15.5	一合	宮内庁正倉院事務所
23	火舎	明治時代 (19世紀)	森川杜園	総高23.0 径37.7	一口	奈良国立博物館
24	佐波理加盤	平成12年 (2000)	般若勘溪	径17.2 高14.3	一口	宮内庁正倉院事務所
25	二彩鉢	昭和63年 (1988)	加藤卓男	高14.2 胴径27.8	一口	宮内庁正倉院事務所
27	金銀平脱皮箱	昭和時代 (20世紀)		縦32.2 横27.0 総高7.4	一合	奈良国立博物館
29	紫檀木画箱	昭和59～60年 (1984～85)	大坂弘道	縦23.6 横42.4 高15.3	一合	宮内庁正倉院事務所
30	粉地彩繪八角几	昭和49～50年 (1974～75)	素地:坂本曲齋(二代) 彩色:山崎昭二郎	径41.0 高9.3	一枚	宮内庁正倉院事務所
33	金銀絵籠箱	明治時代 (19～20世紀)		縦17.2 横33.2 高11.8	一合	東京国立博物館
35	蘇芳地彩繪箱	明治時代 (19世紀)		縦35.1 横38.5 高14.2	一合	東京国立博物館
36	天平宝物筆	昭和53年 (1978)	藤野雲平(十四代)	長56.6 径4.3	一本	宮内庁正倉院事務所
37	紅牙撥鐵尺	昭和53年 (1978)	吉田文之	長29.7 幅2.5 厚0.7	一枚	宮内庁正倉院事務所
39	子日犁	明治時代 (19世紀)		長129.1	一口	東京国立博物館
40	粉地彩繪倚几	明治時代 (19世紀)		縦23.5 横20.2 高19.8	一枚	東京国立博物館
42	子日利簞	明治11年 (1878)		長60.0	一枚	東京国立博物館
43	粉地彩繪倚几	明治～昭和時代 (19～20世紀)		長径31.1 短径26.6 高29.6	一枚	東京国立博物館

## ■第3章 染織

No.	作品名	製作年	製作者	寸法(cm)	員数	所蔵
45	白椽綾錦几褥	昭和61年 (1986)	高田倭男 協力:喜多川平朗	縦99.0 横52.3	一張	宮内庁正倉院事務所
48	御袈裟模袴	平成22年 (2010)	高田装束株式会社	幅107.0 長130.0	一条	宮内庁正倉院事務所
52	伊豫国調白紵	平成7年 (1995)	株式会社川島織物	幅56.4 長200.0	一帖	宮内庁正倉院事務所
53	常陸国調白紵	平成7年 (1995)	株式会社川島織物	幅56.4 長200.0	一帖	宮内庁正倉院事務所
54	丹後国調白紵	平成7年 (1995)	株式会社川島織物	幅56.4 長200.0	一帖	宮内庁正倉院事務所
55	土佐国調白紵	平成7年 (1995)	株式会社川島織物	幅56.4 長200.0	一帖	宮内庁正倉院事務所
60	紀伊国調橡紵	平成8年 (1996)	株式会社川島織物	幅56.4 長300.0	一帖	宮内庁正倉院事務所
62	子持並ビ三ツ菱文羅	平成9年 (1997)	株式会社川島織物	幅56.4 長200.0	一帖	宮内庁正倉院事務所
63	小菱格子文黄羅	平成10年 (1998)	株式会社川島織物	幅56.4 長200.0	一帖	宮内庁正倉院事務所
65	八棱唐花文赤綾	平成12年 (2000)	株式会社川島織物	幅56.4 長400.0	一帖	宮内庁正倉院事務所
66	紫地鳳唐草丸文錦	平成15年 (2003)	株式会社川島織物	幅56.4 長800.0	一帖	宮内庁正倉院事務所

## ■第4章 鏡・調度・装身具

No.	作品名	製作年	製作者	寸法(cm)	員数	所蔵
69	花鳥背八角鏡	昭和54年 (1979)	鈴木貫爾	径33.6	一面	宮内庁正倉院事務所
70	金銀平脱八角鏡	昭和7年 (1932)	吉田立齋	径28.5 縁厚0.5	一面	東京国立博物館
72	銀平脱鏡箱	昭和8年 (1933)	吉田立齋	径29.1 高4.3	一合	東京国立博物館
73	銀薫炉	平成13年 (2001)	鍛造:玉川宣夫 彫金:市川正美	径18.9	一合	宮内庁正倉院事務所
75	紅牙撥鏝碁子	平成8年 (1996)	村松親月	直径1.6 厚0.8	二枚	奈良国立博物館
76	紺牙撥鏝碁子	平成8年 (1996)	村松親月	直径1.5 厚0.7	二枚	奈良国立博物館
77	青斑石髓合子	平成10年 (1998)	詫間裕	長15.0 高3.5	一合	宮内庁正倉院事務所
79	黒漆箱	明治~昭和時代 (19~20世紀)		縦38.4 横53.0 高38.0	一合	東京国立博物館
81	赤漆文櫛木厨子	明治31年 (1898)	木内半古	縦40.8 横83.8 高100.0	一基	東京国立博物館
83	賽及筒	明治時代 (19世紀)		賽:(大)一辺1.7 (小)一辺0.6~1.0 筒:径3.4 高8.5	四個 一口	東京国立博物館
84	木画双六局	昭和7年 (1932)	木内省古	縦30.9 横54.3 高16.8	一基	東京国立博物館
86	螺鈿箱	昭和51~52・54年 (1976~77・79)	素地:川北良造 髹漆:加飾:北村大通 囃:高田義男	径25.8 高8.4	一合	宮内庁正倉院事務所
88	紺玉帯	昭和55年 (1980)	牧田三郎	全長167.6 幅4.0	一条	宮内庁正倉院事務所
89	雑帯 第六号	昭和56年 (1981)	山岡一晴	縦132.2 横4.7	一条	宮内庁正倉院事務所
90	雑帯 第十一号	昭和56年 (1981)	山岡一晴	縦125.0 横3.1	一条	宮内庁正倉院事務所
93	雑帯 第二十号	昭和56年 (1981)	山岡一晴	縦238.0 横0.8	一条	宮内庁正倉院事務所
94	黄楊木把鞘刀子	平成19~20年 (2007~08)	刀身:宮入法廣 象嵌:橋本瑠巴 研磨:熊井光徹 外装:高山一之 金具:宮島宏	①全長26.4 把長11.0 鞘長19.0 身長11.4 ②全長26.4 把長11.0 鞘長19.0 身長11.2	一双 (二口)	宮内庁正倉院事務所
96	黒漆三合鞘刀子	明治時代 (19世紀)	奈良博覧会社	把長9.8~11.8 鞘長20.3 刃長7.3~10.0	一口	奈良国立博物館

No.	作品名	製作年	製作者	寸法(cm)	員数	所蔵
99	斑犀把白牙鞘金銅荘刀子	明治時代 (19世紀)	奈良博覧会社	把長 8.5 鞘長 13.0 刃長 7.3	一口	奈良国立博物館
101	斑犀把紅牙撥鍍鞘刀子	明治時代 (19世紀)	奈良博覧会社	把長 5.5 鞘長 8.9 刃長 5.2	一口	奈良国立博物館
102	斑犀把烏犀鞘刀子	明治時代 (19世紀)	奈良博覧会社	把長 4.2 鞘長 5.5 刃長 3.0	一口	奈良国立博物館

## ■第5章 刀・武具

No.	作品名	製作年	製作者	寸法(cm)	員数	所蔵
104	黒作大刀 第十三号	平成 7～8 年 (1995～96)	刀身:大野義光 研磨:小野博 外装木地:高山一之 髹漆:川之邊朝章 金具:宮島宏	全長 87.8 把長 16.5 鞘長 70.3 身長 68.1	一口	宮内庁正倉院事務所
106	呉竹鞘御杖刀	明治時代 (19世紀)		全長 158.8 把長 11.7 鞘長 147.1 身長 64.3	一口	宮内庁正倉院事務所
107	破陣桑大刀 第五号 其二	明治時代 (19世紀)		長 87.5	一口	宮内庁正倉院事務所
109	黄金荘大刀	明治 8 年 (1875)	奈良博覧会社	把長 14.9 鞘長 69.1 刃長 64.5	一口	奈良国立博物館
111	金銅柱横刀	明治 8 年 (1875)	奈良博覧会社	把長 12.1 鞘長 49.7 刃長 43.9	一口	奈良国立博物館
114	漆葛胡禄 第七号	明治 36 年 (1903)		縦 51.0 横 13.5	一口	宮内庁正倉院事務所
115	赤漆葛胡禄 第十三号	明治 36 年 (1903)		縦 49.5 横 11.3	一口	宮内庁正倉院事務所
116	箭	明治 27 年 (1894)		長 70.5～76.5	十本	宮内庁正倉院事務所

## ■第6章 筆墨

No.	作品名	製作年	製作者	寸法(cm)	員数	所蔵
117	墨	明治 8 年 (1875)	古梅園	①長 15.4 幅 2.8 ②長 16.0 幅 3.3	二挺	奈良国立博物館
118	筆	明治時代 (19～20世紀)	川勝亀三	①長 23.4 ②長 23.4 ③長 20.8 ④長 20.5 ⑤長 19.4	五本	奈良国立博物館
120	統修正倉院古文書 第三卷 (御野国加毛郡半布里戸籍)	昭和 58 年 (1983)	国立歴史民俗博物館	縦 30.2 全長 559.9	一卷	宮内庁正倉院事務所
121	正倉院古文書正集 第十卷 (大倭国正税帳)	昭和 59 年 (1984)	国立歴史民俗博物館	縦 29.0 全長 726.6	一卷	宮内庁正倉院事務所
122	正倉院古文書正集 第十五卷 (尾張国正税帳)	昭和 57 年 (1982)	国立歴史民俗博物館	縦 29.4 全長 553.3	一卷	宮内庁正倉院事務所
123	正倉院古文書正集 第四十三卷 (筑後国正税帳・薩摩国正税帳)	昭和 60 年 (1985)	国立歴史民俗博物館	縦 29.7 全長 374.7	一卷	宮内庁正倉院事務所
124	正倉院古文書正集 第一卷 (神祇官移ほか)	昭和 58 年 (1983)	国立歴史民俗博物館	縦 31.0 全長 428.5	一卷	宮内庁正倉院事務所
125	正倉院古文書正集 第七卷 (良弁牒・道鏡牒ほか)	昭和 59 年 (1984)	国立歴史民俗博物館	縦 31.3 全長 404.1	一卷	宮内庁正倉院事務所
127	統修正倉院古文書 第二十卷 (写経生請暇解)	昭和 62 年 (1987)	国立歴史民俗博物館	縦 30.5 全長 696.3	一卷	宮内庁正倉院事務所
128	正倉院宝庫模型	明治 8 年 (1875)	青山菊松	総高 78.8 横 89.7 奥行 36.4	一基	奈良国立博物館

※ No. は通番ではなく巡回展共通の作品番号

※ No.10・11 螺鈿紫檀五絃琵琶のみ半期ずつの展示 (10 宮内庁正倉院事務所蔵…4/21～5/15、11 東京国立博物館蔵…5/17～6/12)

## 草間彌生 版画の世界



■会期

2022年7月23日(土)～9月25日(日)

■会場

企画展示室

■入場者

45,390人(1日平均744人)

■主催

松本市美術館

■特別協力

株式会社草間彌生

■担当学芸員

澁田見 彰、武藤 美紀、村上 萌

〔趣旨・総括〕

松本市出身の世界的前衛芸術家・草間彌生(1929-)の版画の世界を紹介した展覧会。草間彌生は、1993年、第45回ヴェネツィア・ビエンナーレにおいて、日本を代表する作家として世界の舞台へと立つが、その前段で積極的に版画に取り組んだことも、現在の評価に繋がる大きな原動力となった。

1979年、初めての版画作品となる《靴をはいて野にゆこう》、《幻の野に立ちて》の2点を発表。版画作品の登場が、草間の表現方法の変化と時期を同じくしていたことも特筆すべき点である。帰国後のコラージュやオブジェに込められた死生観とは違う側面が表出しはじめていた頃だった。それまでの抽象的な表現に加え、具体的なモチーフを積極的に取り入れ、南瓜、ドレス、帽子、葡萄、花や蝶などが、網目や水玉で構成され、明瞭な色彩を纏う。常同反復による網目や水玉の増殖が創作活動の根幹にあった草間と、複製芸術である版画の出合いは必然であったのかもしれない。450種、3万部に及ぶそれらは、いつしか草間芸術の一角を担うようになった。また近年は、富士山を主題に浮世絵版画の技法を用いた連作や、モノクロームの大型シルクスクリーン作品「愛はとこしえ」シリーズなど、特徴的な作品を発表している。

これまで草間版画作品はシート状態で保管しており、数点ずつ仮額での展示を行うのみだったが、本展覧会開催に向けて、すべての作品に専用額を作成し、一堂に公開することが叶った。

本展は、松本市美術館が所蔵する版画作品全343点に草間彌生氏所蔵作品10点を合わせ、草間の版画芸術の全容を紹介する初の展覧会となった。



## ■関連行事

### (1) ワークショップ①「エッチング入門」

日時：8月4日(木)、5日(金)午前9時30分  
～午後4時30分

講師：久保田一夫氏

会場：講座室、市民アトリエ、版画室

対象：小学生から大人まで

料金：800円

参加者数：9人

### (2) ワークショップ②「シルクスクリーン体験」

日時：8月20日(土)午前9時30分～12時、  
午後1時30分～4時

講師：MAG MAG ink.

会場：講座室、市民アトリエ

対象：小学生から大人まで

料金：500円

参加者数：12人

## ■印刷物

ポスター B2判(カラー)、1,800部

チラシ A4判(両面カラー)、40,000部

[ 出品リスト ]

■第1章 靴をはいて野にゆこう

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
1	靴をはいて野にゆこう	1979	シルクスクリーン・紙	54.1 × 64.8	
2	幻の野に立ちて	1979	シルクスクリーン・紙	43.0 × 52.2	
3	野に忘れた帽子	1981	シルクスクリーン・紙	41.0 × 51.8	
4	ドレス	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	58.6 × 47.8	
5	ドレス	1982	リトグラフ、シルクスクリーン・紙	53.0 × 45.6	
6	自画像	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	22.5 × 15.5	
7	花	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	22.3 × 15.5	
8	ニューヨーク	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	15.5 × 22.5	
9	赤富士 Red Mt.Fuji	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	15.5 × 22.5	
10	帽子	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	15.5 × 22.5	
11	ぶどう	1982	シルクスクリーン・紙	31.5 × 27.0	
12	蝶	1982	シルクスクリーン・紙	26.8 × 32.1	
13	帽子-S	1982	シルクスクリーン・紙	27.0 × 32.2	
14	帽子	1982	シルクスクリーン・紙	55.2 × 68.7	
15	帽子	1983	シルクスクリーン・紙	45.0 × 52.5	
16	帽子	1983	シルクスクリーン・紙	45.0 × 52.5	
17	信濃路	1983	シルクスクリーン・紙	48.7 × 60.0	
18	富士	1983	シルクスクリーン・紙	49.0 × 60.0	
19	ぶどう	1983	シルクスクリーン・紙	60.0 × 49.0	
20	ぶどう	1983	シルクスクリーン・紙	60.0 × 49.0	
21	ぶどう	1983	シルクスクリーン・紙	52.5 × 45.0	
22	靴	1984	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
23	金魚鉢	1984	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
24	果物	1984	シルクスクリーン・紙	48.5 × 52.5	
25	レモン・スカッシュ	1984	シルクスクリーン・紙	53.0 × 45.5	
26	花	1984	シルクスクリーン・紙	53.0 × 45.5	
27	帽子	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
28	帽子	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
29	帽子	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
30	帽子	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
31	靴	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
32	靴	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
33	靴	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
34	Flowers	1985	エッチング・紙	42.2 × 27.5	
35	FLOWERS	1985	エッチング・紙	27.5 × 42.0	
36	Shoes	1985	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
37	COFFEE CUP	1985	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.7	
38	ハンドバッグ	1985	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.6	
39	BUTTERFLY	1985	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
40	BUTTERFLY	1985	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
41	FLOWERS	1985	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
42	FLOWERS	1985	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
43	DANDELIONS	1985	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.6	
44	FLOWERS (1)	1985	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.6	
45	FLOWERS (2)	1985	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.6	
46	魚	1986	シルクスクリーン・紙	46.0 × 53.5	
47	帽子	1986	シルクスクリーン・紙	46.0 × 53.5	
48	自画像	1986	シルクスクリーン・紙	53.5 × 46.0	
49	西瓜	1986	シルクスクリーン・紙	46.0 × 53.5	
50	チューリップ	1986	シルクスクリーン・紙	53.5 × 46.0	
51	コーヒーカップ	1988	シルクスクリーン・紙	91.0 × 67.3	
52	レモンスカッシュ	1988	シルクスクリーン・紙	84.8 × 68.0	
53	灰皿	1988	シルクスクリーン・紙	67.8 × 84.8	
54	蝶	1988	シルクスクリーン・紙	67.8 × 78.7	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
55	暁	1989	シルクスクリーン・紙	52.8 × 45.4	
56	花園	1989	シルクスクリーン・紙	45.3 × 52.5	
57	花と蝶	1989	シルクスクリーン・紙	52.8 × 43.8	
58	夜	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.8	
59	貝	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.8	
60	街	1989	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
61	ひまわり	1989	シルクスクリーン・紙	52.8 × 45.4	
62	かたつむり	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.8	
63	たつのおとしご	1989	シルクスクリーン・紙	53.0 × 45.2	
64	百合	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.7	
65	月食	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.8	
66	とかげ	1989	シルクスクリーン・紙	45.0 × 52.7	
67	蝶	1989	シルクスクリーン・紙	45.0 × 52.5	
68	深海	1989	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
69	海	1989	シルクスクリーン・紙	45.0 × 52.7	
70	YAYOI KUSAMA 通り	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 37.5	
71	毒きのこ	1990	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.8	
72	きんぎょ	1990	シルクスクリーン・紙	45.0 × 53.6	
73	夏の花	1990	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.8	
74	揚子江	1990	シルクスクリーン・紙	45.0 × 53.5	
75	灰皿	1990	シルクスクリーン・紙	45.0 × 53.5	
76	レモン・スカッシュ	1992	リトグラフ・紙	27.5 × 22.0	
77	三本の花 (I)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
78	三本の花 (II)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
79	三本の花 (III)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
80	Flower 花 (1)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
81	花 (2)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
82	花 (3)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
83	かびん (1)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
84	かびん (2)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
85	かびん (3)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
86	レモンスカッシュ (I)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
87	レモンスカッシュ (II)	1992	リトグラフ・紙	28.5 × 23.0	
88	花 AZ	1993	シルクスクリーン・紙	72.5 × 60.5	
89	花 BH	1993	シルクスクリーン・紙	72.5 × 60.5	
90	花 FW	1993	シルクスクリーン・紙	72.5 × 60.5	
91	花 QE	1993	シルクスクリーン・紙	72.5 × 60.5	
92	花 PX	1993	シルクスクリーン・紙	72.5 × 60.5	
93	花 XL	1993	シルクスクリーン・紙	60.5 × 72.5	
94	花	1993	シルクスクリーン・紙	27.5 × 22.0	
95	花カゴ	1993	シルクスクリーン・紙	21.5 × 27.0	
96	きのこ	1995	エッチング・紙	22.5 × 29.5	
97	蝶	1995	エッチング・紙	22.5 × 29.5	
98	花と蝶	1995	エッチング・紙	34.5 × 22.5	
99	自画像	1995	エッチング・紙	29.5 × 22.5	
100	自画像	1995	エッチング・紙	29.5 × 22.5	
101	記念撮影	1995	エッチング・紙	29.5 × 22.5	
102	自画像	1995	エッチング・紙	22.0 × 14.8	
103	レモンスカッシュ	2000	シルクスクリーン	27.0 × 21.0	
104	Flowers	2002	リトグラフ	51.6 × 36.2	作家
105	夜の花	2003	シルクスクリーン・紙	28.0 × 66.2	作家
106	花は心の中で咲いた	2011	シルクスクリーン、エッチング、エンボス・紙	45.5 × 38.0	作家
107	魂を求めて	2012	シルクスクリーン、エッチング、エンボス・紙	60.5 × 72.5	作家
108	天上の会話	2012	シルクスクリーン、エッチング、エンボス・紙	62.5 × 65.0	作家
109	生命は限りもなく、宇宙に燃え上がって行く時	2015	木版・紙	30.3 × 90.0	
110	われわれの魂の沈んでいった果てに、この黒々とした山は すべてを愛につつんでしまう	2015	木版・紙	30.3 × 90.0	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
111	永遠に輝く我が命、この人間愛は何億光年も減びる事はない	2015	木版・紙	30.3 × 90.0	
112	宇宙や人類の生命のありか	2015	木版・紙	30.3 × 90.0	
113	やさしさに溢れた万物は私の心を打った	2015	木版・紙	30.3 × 90.0	
114	富士山、わたし大好き	2015	木版・紙	30.3 × 90.0	
115	命の限り愛してきた私の富士山のすべて	2015	木版・紙	30.3 × 90.0	
116	富士は心の故郷	2015	木版・紙	42.0 × 59.5	
117	わが心の富士はかたる	2015	木版・紙	43.0 × 29.0	

## ■第二章 輝きの世界

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
118	FLOWERS	1985	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.0 × 45.5	
119	魚	1986	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 52.5	
120	Infinity Nets [C]	1953-1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.1 × 44.3	
121	無限の網 [D]	1953-1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	52.6 × 45.2	
122	魚	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 52.5	
123	魚	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 52.5	
124	魚	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 52.5	
125	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3	
126	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3	
127	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3	
128	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3	
129	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3	
130	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3	
131	ブドウ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	53.3 × 43.3	
132	ハイヒール (1)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
133	ハイヒール (2)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
134	ハイヒール (3)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
135	ハイヒール (4)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
136	レモンスカッシュ (1)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
137	レモンスカッシュ (2)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
138	レモンスカッシュ (3)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
139	レモンスカッシュ (4)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
140	レモンスカッシュ (5)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
141	花 (1)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
142	花 (2)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
143	花 (3)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
144	花 (4)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
145	花 (5)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 45.0	
146	果物かご (1)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0	
147	果物かご (2)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0	
148	果物かご (3)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0	
149	果物かご (4)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0	
150	果物かご (5)	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.0 × 54.0	
151	帽子 (I)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5	
152	帽子 (II)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5	
153	フルーツバスケット (I)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5	
154	フルーツバスケット (II)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5	
155	蝶々 (I)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5	
156	蝶々 (II)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5	
157	チュールリップ (I)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.5 × 38.0	
158	チュールリップ (II)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	45.5 × 38.0	
159	FLOWERS A	2005	シルクスクリーン、ラメ・紙	61.0 × 51.0	作家
160	FLOWERS B	2005	シルクスクリーン、ラメ・紙	51.0 × 61.0	作家



### ■第三章 愛すべき南瓜たち

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
161	かぼちゃ	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	57.7 × 47.7	
162	南瓜	1982	リトグラフ、シルクスクリーン・紙	52.2 × 45.7	
163	南瓜	1982	リトグラフ、コラージュ・紙	15.6 × 22.6	
164	南瓜	1982	シルクスクリーン・紙	68.6 × 55.0	
165	かぼちゃ	1983	シルクスクリーン・紙	58.7 × 48.5	
166	南瓜	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
167	南瓜	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
168	南瓜	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
169	南瓜	1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.8	
170	静物	1984	エッチング・紙	27.5 × 45.0	
171	かぼちゃ	1985	エッチング・紙	22.5 × 18.5	
172	無題	1985	エッチング・紙	27.5 × 42.2	
173	無題	1985	エッチング・紙	21.0 × 27.5	
174	南瓜	1986	シルクスクリーン・紙	90.2 × 72.2	
175	かぼちゃ	1988	シルクスクリーン、ラメ・紙	52.7 × 44.0	
176	かぼちゃ	1988	シルクスクリーン・紙	90.8 × 67.5	
177	こんにちは	1989	シルクスクリーン・紙	45.4 × 52.8	
178	黒とかげ	1989	シルクスクリーン・紙	45.5 × 53.0	
179	かぼちゃ	1990	シルクスクリーン・紙	53.5 × 45.0	
180	かぼちゃ (A)	1990	シルクスクリーン・紙	45.0 × 53.5	
181	かぼちゃ (2)	1990	シルクスクリーン・紙	52.5 × 45.4	
182	かぼちゃ	1991	シルクスクリーン・紙	16.0 × 21.0	
183	かぼちゃ (黄T)	1992	シルクスクリーン・紙	72.4 × 60.5	
184	かぼちゃ (黄Y)	1992	シルクスクリーン・紙	60.5 × 72.4	
185	かぼちゃ (白T)	1992	シルクスクリーン・紙	72.3 × 60.5	
186	かぼちゃ (白Y)	1992	シルクスクリーン・紙	60.4 × 72.3	
187	カボチャ (G)	1992	シルクスクリーン・紙	15.6 × 22.5	
188	カボチャ (R)	1992	シルクスクリーン・紙	15.6 × 22.5	
189	カボチャ (Y)	1992	シルクスクリーン・紙	15.6 × 22.5	
190	赤かぼちゃ	1992	シルクスクリーン・紙	72.4 × 60.5	
191	かぼちゃ (S)	1992	シルクスクリーン・紙	18.0 × 14.0	
192	かぼちゃ (OG)	1992	シルクスクリーン・紙	38.0 × 45.7	
193	かぼちゃ	1992	シルクスクリーン・紙	27.5 × 22.0	
194	考えるかぼちゃ	1993	シルクスクリーン・紙	65.5 × 53.5	
195	かぼちゃの神様	1993	シルクスクリーン・紙	65.5 × 53.5	
196	かぼちゃのひるね	1993	シルクスクリーン・紙	53.5 × 65.5	
197	ダンスかぼちゃ	1993	シルクスクリーン・紙	50.0 × 72.5	
198	かぼちゃ 3つ	1993	シルクスクリーン・紙	24.0 × 33.0	
199	かぼちゃと果物	1993	シルクスクリーン・紙	24.0 × 33.0	
200	赤色かぼちゃ	1994	シルクスクリーン・紙	45.5 × 52.5	
201	黄色かぼちゃ	1994	シルクスクリーン・紙	45.5 × 52.5	
202	畑	1994	エッチング・紙	29.5 × 45.5	
203	かぼちゃ	1994	エッチング・紙	30.0 × 45.0	
204	かぼちゃ軍団	1994	エッチング・紙	30.0 × 45.0	
205	かぼちゃ	1995	エッチング・紙	29.5 × 22.5	
206	幻の野	1995	エッチング・紙	22.5 × 34.5	
207	かぼちゃ (YT)	1996	シルクスクリーン・紙	29.8 × 22.8	
208	かぼちゃ (GT)	1996	シルクスクリーン・紙	29.8 × 22.8	
209	かぼちゃ (RT)	1996	シルクスクリーン・紙	29.8 × 22.8	
210	かぼちゃ (YY)	1996	シルクスクリーン・紙	22.8 × 29.8	
211	かぼちゃ (GY)	1996	シルクスクリーン・紙	22.8 × 29.8	
212	かぼちゃ (RY)	1996	シルクスクリーン・紙	22.8 × 29.8	
213	果物	1997	シルクスクリーン・紙	24.0 × 33.0	
214	かぼちゃ (YSQ)	1998	シルクスクリーン・紙	30.0 × 30.0	
215	かぼちゃ (RYSQ)	1998	シルクスクリーン・紙	30.0 × 30.0	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
216	かぼちゃ (RSQ)	1998	シルクスクリーン・紙	30.0 × 30.0	
217	かぼちゃ (GSQ)	1998	シルクスクリーン・紙	30.0 × 30.0	
218	かぼちゃ (BSQ)	1998	シルクスクリーン・紙	30.0 × 30.0	
219	かぼちゃ MT	1999	シルクスクリーン・紙	44.3 × 36.6	
220	かぼちゃ MY	1999	シルクスクリーン・紙	36.5 × 44.2	
221	かぼちゃ R	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 75.0	
222	かぼちゃ P	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 75.0	
223	かぼちゃ B	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 75.0	
224	かぼちゃ G	1999	シルクスクリーン、ラメ・紙	54.0 × 75.0	
225	かぼちゃ (I)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5	
226	かぼちゃ (II)	2000	シルクスクリーン、ラメ・紙	38.0 × 45.5	
227	南瓜	2000	シルクスクリーン、コラージュ・紙	27.0 × 21.0	
228	PUMPKIN - YELLOW	2006	エッチング・紙	98.0 × 76.0	作家

#### ■第IV章 境界なきイメージ

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
229	Infinity Nets 1958	1958-1982	シルクスクリーン・紙	27.0 × 31.5	
230	インフィニティ・ネット	1963-1983	シルクスクリーン・紙	52.5 × 45.0	
231	Infinity Nets	1953-1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.5	
232	Infinity Nets	1953-1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.5	
233	Infinity Nets	1953-1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.5	
234	Infinity Nets	1953-1984	リトグラフ・紙	31.0 × 40.5	
235	Infinity Nets	1953-1985	シルクスクリーン・紙	45.2 × 52.6	
236	Dots Infinity	1986	シルクスクリーン・紙	28.0 × 32.0	
237	Infinity Nets	1986	シルクスクリーン・紙	28.0 × 32.0	
238	夕映えの雨	1992	シルクスクリーン・紙	52.5 × 45.5	
239	失意	1994	シルクスクリーン・紙	51.0 × 36.0	
240	瞑想	1994	シルクスクリーン・紙	51.0 × 36.0	
241	Nets BO	1997	シルクスクリーン・紙	51.5 × 36.3	
242	茜雲	1997	シルクスクリーン・紙	51.4 × 36.2	
243	波 (1)	1998	シルクスクリーン・紙	59.7 × 47.8	
244	波 (2)	1998	シルクスクリーン・紙	47.8 × 59.7	
245	陽光	1998	シルクスクリーン・紙	59.7 × 47.8	
246	夜の雨 (1)	1998	シルクスクリーン・紙	60.0 × 47.9	
247	夜の雨 (2)	1998	シルクスクリーン・紙	60.0 × 47.9	
248	花さける信濃路	1999	シルクスクリーン・紙	59.7 × 47.7	
249	ほたる	1999	シルクスクリーン・紙	59.7 × 47.7	
250	波頭	1999	シルクスクリーン・紙	59.8 × 47.8	
251	風	1999	シルクスクリーン・紙	65.6 × 53.8	
252	朝の太陽	1999	シルクスクリーン・紙	65.6 × 53.8	
253	心 (1)	1999	シルクスクリーン・紙	47.7 × 59.6	
254	心 (2)	1999	シルクスクリーン・紙	47.7 × 59.6	
255	町	1999	シルクスクリーン・紙	47.8 × 59.6	
256	無限の網	2000	シルクスクリーン・ミラーフィルム	27.0 × 21.0	
257	Infinity Nets (BA)	2001	シルクスクリーン、エンボス・紙	36.1 × 25.8	作家
258	SEX OBSESSION	2003	エンボス・紙	50.0 × 60.0	作家

#### ■第V章 単色のメッセージ

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
259	Infinity Nets	1953-1984	エッチング・紙	31.0 × 40.5	
260	Infinity Nets	1953-1984	エッチング・紙	27.5 × 44.0	
261	Infinity Nets	1953-1984	エッチング・紙	30.0 × 19.5	
262	Infinity Nets	1953-1984	エッチング・紙	22.5 × 18.5	
263	Infinity Nets	1953-1984	エッチング・紙	30.0 × 20.0	
264	Infinity Nets	1953-1984	エッチング・紙	22.5 × 18.5	
265	Infinity Nets	1953-1984	エッチング・紙	30.0 × 20.0	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
266	Infinity	1953-1984	エッチング・紙	19.5 × 36.5	
267	Accumulation	1953-1984	エッチング・紙	27.3 × 45.3	
268	Infinity	1953-1984	エッチング・紙	19.5 × 36.5	
269	ACCUMULATION	1953-1984	エッチング・紙	27.5 × 45.0	
270	Endless	1953-1984	エッチング・紙	27.5 × 45.0	
271	Accumulation	1953-1984	エッチング・紙	27.7 × 45.3	
272	Endless	1953-1984	エッチング・紙	36.2 × 19.8	
273	心	1984	エッチング・紙	29.5 × 19.5	
274	草	1985	エッチング・紙	21.0 × 27.8	
275	Endless	1985	エッチング・紙	21.0 × 27.5	
276	Endless (1)	1985	エッチング・紙	27.5 × 21.0	
277	雑草	1992	エッチング・紙	27.5 × 22.0	
278	河波	1993	エッチング・紙	27.5 × 22.5	
279	ドッツ アキュミレーション	1993	エッチング・紙	27.5 × 22.5	
280	街	1993	エッチング・紙	27.5 × 22.5	
281	花 (A・B)	1994	エッチング・紙	29.5 × 42.0	
282	水玉	1994	エッチング・紙	29.5 × 42.0	
283	水玉の集積	1994	エッチング・紙	29.5 × 42.0	
284	花芯	1994	エッチング・紙	42.0 × 30.0	
285	無限の網 (A・B)	1994	エッチング・紙	45.5 × 30.0	
286	波	1994	エッチング・紙	42.0 × 29.5	
287	星	1994	エッチング・紙	42.0 × 30.0	
288	道	1994	エッチング・紙	29.5 × 41.5	
289	無限の網 (B)	1994	エッチング・紙	29.5 × 41.5	
290	芽生え	1995	エッチング・紙	22.5 × 14.5	
291	町	1995	エッチング・紙	22.5 × 14.5	
292	春	1995	エッチング・紙	22.5 × 34.5	
293	芽	1995	エッチング・紙	34.5 × 22.5	
294	星	1995	エッチング・紙	29.5 × 22.5	
295	開花	1995	エッチング・紙	34.5 × 22.5	
296	街並み	1995	エッチング・紙	29.5 × 22.5	
297	朝明けの河	1995	エッチング・紙	31.0 × 22.0	
298	幻の光	1995	エッチング・紙	31.0 × 22.0	
299	無限の網	1995	エッチング・紙	39.5 × 54.5	
300	無限の路線	1995	エッチング・紙	39.5 × 54.5	
301	エンドレス	1995	エッチング・紙	39.5 × 54.5	
302	ドッツ・アキュミレーション	1995	エッチング・紙	39.5 × 54.5	
303	無限のドッツ	1995	エッチング・紙	31.0 × 22.0	

## ■第VI章 愛はとこしえ

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
304	春のめざめ [TWSHON]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
305	うるわしき夜 [ABCTW]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
306	恋人たち	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
307	花片 [AWSHtS]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
308	真夜中のねむり [OPESSA]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
309	宴のあと [SOXTE]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
310	1000の目 [TEOXZ]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
311	波に浮く唇 [TOWHC]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
312	朝の波 [TEXHT]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
313	夢の中の女たち [TWZSA]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
314	初恋 [SWTUE]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
315	女の残像 [FAOWE]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
316	Women [TTWOP]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
317	夜のさざなみ [TOWSS]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
318	夏の午後 [FTOPK]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵
319	群衆 [TWOXZ]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
320	愛はとこしえ [OPXTWE]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
321	女の園 [OEWT]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
322	河のながれ	2006	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
323	女たちのつどい	2006	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
324	夜明けの波	2006	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
325	きのう見た夢	2006	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
326	愛のおわり	2006	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
327	初夏 [TWPOX]	2006	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
328	生命讃歌 [BOZA]	2006	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
329	愛はとこしえ [TAOW]	2004	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
330	朝がきた。 [TWST]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
331	春来る [QAB.Z]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
332	春を待つ女たち [TZW]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
333	真夜中の女たち	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
334	献花 (チューリップ)	2006	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
335	野に出でる	2006	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
336	我が心の中の旗 [TXOZT]	2006	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
337	花咲けるニューヨーク [OPRT]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
338	早春の芽生え [TAA.Z]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
339	女の一生 [TWOXO]	2005	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
340	星の住処 [TWOXS]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	
341	生老病死 [QXPAT]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
342	春のきざし [WQZY]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
343	青春への道標 [HOTWOX]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
344	芽ぶき [TOXZS]	2006	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
345	波 [TWOXZO]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
346	宇宙への旅 [TZQMN]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
347	青春の日々 [YOZMTO]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
348	朝のかがやき [TWHIOW]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
349	女たちのニューヨーク [SSAAWA]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
350	朝のめざめ [TQSTW]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
351	私だいすき [TOWHSQ]	2006	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
352	天国の入口 [TQWFV]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	130.3 × 162.0	
353	無限の宇宙 [TOWEY]	2007	シルクスクリーン・キャンバス	162.0 × 130.3	

## 鹿児島市立美術館 名品展



■会期

2022年10月8日(土)～11月27日(日)

■会場

企画展示室

■入場者

18,477人(1日平均420人)

■主催

松本市美術館、市民タイムス

■共催

SBC信越放送

■協賛

株式会社フジドリームエアラインズ

■協力

株式会社井上、松本信用金庫

■特別協力

鹿児島市立美術館

■担当学芸員

稲村 純子、武藤 美紀、大西 哲理、林 風美

〔趣旨・総括〕

鹿児島市と松本市が文化・観光交流協定を結んでから10年を迎えたことを記念して、鹿児島市立美術館の全面的なご協力のもと、その名品を一堂に紹介する展覧会を開催した。

鹿児島市は、南九州を治めた島津氏の城下町として江戸時代に発展し、明治維新には西郷隆盛・大久保利通らが活躍した歴史がある。また桜島をはじめ、海や森林など雄大な自然に恵まれている。この魅力ある都市に建つ鹿児島市立美術館は、「鹿児島ゆかりの画家たちの作品」、「19世紀末から現代につながる西洋美術」、「郷土の風土に取材した作品(桜島コレクション)」などを収集方針に掲げ、約4,350点の作品を所蔵している。

鹿児島は日本近代洋画を代表する多くの優れた画家を輩出しており、本展では黒田清輝、藤島武二、和田英作のほか、東郷青児、海老原喜之助から現代にいたる画家たちの作品を一堂に展観した。また、夏目漱石『吾輩ハ猫デアル』(初版本)の装幀を手掛けた橋口五葉の多方面にわたる画業も紹介した。さらに、西洋美術の珠玉のコレクションも一堂に展示。黒田に影響を与えたラファエル・コランにはじまり、印象派から現代までの近代西洋美術の流れを、モネ、セザンヌ、ピカソ、マチス、ダリなどの作品から通観していただける貴重な機会となった。また、多くの画家が魅了され描いた鹿児島のシンボル・桜島の風景も見どころのひとつとなった。

創刊50周年であった市民タイムスが主催に入り、紙面では学芸員による作品解説を10回連載するなど地元紙による盛り上がりを見せ、多くの市民にご覧いただくことができた。また、モネの《睡蓮》の出品が訴求力となり展覧会は盛況で、本展が鹿児島の文化を知っていただく機会となったことは大変意義深いものであった。2016(平成28)年には、鹿児島市立美術館で「松本市美術館名品展」が開催されており、2つの展覧会をとおして、両市の文化交流を推進することができた。



## ■関連行事

- (1) 記念スライドトーク「なぜ鹿児島は洋画王国となったのか？」

日時：10月30日(日)午後2時～3時30分

講師：谷口 雄三氏(鹿児島市立美術館学芸係長)

会場：多目的ホール

料金：無料(ただし、本展観覧券が必要)

参加者数：61人

- (2) 館長によるギャラリートーク

日時：11月12日(土)午後2時～

講師：小川稔(松本市美術館館長)

会場：企画展示室

料金：無料(ただし、本展観覧券が必要)

参加者数：20人

- (3) 学芸員によるギャラリートーク

日時：10月22日(土)午後2時～

講師：稲村純子(松本市美術館学芸員)

会場：企画展示室

料金：無料(ただし、本展観覧券が必要)

参加者数：22人

## ■印刷物

ポスター B2判(カラー)、1,800部

チラシ A4判(両面カラー)、40,000部

## ■図録

規格／245mm×192mm、総頁数136ページ

作品図版／カラー 105点

参考図版／カラー 8点

執筆／谷口雄三(鹿児島市立美術館主幹・学芸係長)、小川稔(松本市美術館館長)、稲村純子(松本市美術館学芸員)、武藤美紀(松本市美術館学芸員)

企画・構成・編集／松本市美術館  
発行／松本市美術館

内容／ごあいさつ

目次

目次

[洋画王国かごしまーその要因を考える]

谷口雄三

図版

第1章 鹿児島ゆかりの画家たち

第2章 珠玉の西洋美術コレクション

第3章 とっておきの桜島

資料

[国民美術への道ー黒田清輝から藤島武

二へ] 小川稔

作家略歴

作品リスト

[ 出品リスト ]

■第1章 鹿兒島ゆかりの画家たち

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	床次正精	西郷肖像	19世紀後半	油彩・キャンバス	181.0 × 103.5
2	曾山幸彦	上野東照宮図	1890頃	油彩・キャンバス	60.5 × 100.0
3	時任鸚熊	谷中の墓地	1901	油彩・キャンバス	38.3 × 56.4
4	大牟礼南島	風景	1913	油彩・キャンバス	41.1 × 53.4
5	山下兼秀	工部大跡風景	1910	油彩・キャンバス	61.1 × 45.7
6	黒田清輝	自画像	1889	油彩・板	31.5 × 23.5
7	黒田清輝	アトリエ	1890	油彩・キャンバス	72.8 × 60.6
8	黒田清輝	風景	1892	油彩・キャンバス	41.0 × 33.0
9	黒田清輝	婦人像	不詳	鉛筆・キャンバス	58.0 × 43.5
10	藤島武二	裸体習作	1906-07	油彩・キャンバス	80.5 × 53.9
11	藤島武二	鉸剪眉	1927	油彩・キャンバス	51.8 × 39.5
12	藤島武二	鳥羽の日の出	1931	油彩・キャンバス	72.6 × 100.0
13	藤島武二	裸婦青衣	1933	パステル・紙	34.0 × 27.0
14	藤島武二	蒙古高原の日の出	1937	パステル・紙	26.0 × 35.0
15	藤島武二	中国風景	1938	油彩・キャンバス	73.0 × 100.3
16	和田英作	赤い燐寸	1914	油彩・キャンバス	80.3 × 65.2
17	和田英作	田園の夕暮れ	1920	油彩・キャンバス	65.2 × 80.3
18	和田英作	野遊 (下絵)	1925	木炭・紙	67.0 × 47.4
19	和田英作	野遊 (下絵)	1925	木炭・紙	67.0 × 47.4
20	和田英作	富士 (吉田より)	1933	油彩・キャンバス	72.8 × 91.0
21	伊達孝太郎	メリー・ウーリッチ嬢肖像	1917	水彩・象牙	8.5 × 6.5
22	伊達孝太郎	松平子爵夫人肖像	1921	水彩・象牙	8.0 × 6.0
23	橋口五葉	女の顔	不詳	油彩・板	32.7 × 23.1
24	橋口五葉	ベゴニアほか	1904-10頃	鉛筆、水彩・紙	32.1 × 24.2
25	橋口五葉	花を飾る婦人	1904	描画平版・紙 (はがき)	13.9 × 9.0
26	橋口五葉	西行法師	c.1905	水彩・紙 (はがき)	9.0 × 14.1
27	橋口五葉	矢車草と蝶	1905頃	水彩・紙 (はがき)	14.1 × 9.0
28	橋口五葉	花菖蒲と少女	1905頃	水彩・紙 (はがき)	14.1 × 9.0
29	橋口五葉	王朝風俗	1904頃	絹本着彩	177.6 × 164.0
30	橋口五葉	孔雀と印度女	1907	油彩・キャンバス	193.8 × 184.0
31	橋口五葉	『吾輩ハ猫デアル』(夏目漱石著) 後編・『鶉籠』他 装幀画稿	1906	墨・紙	28.0 × 40.1
32	橋口五葉	『吾輩ハ猫デアル』(夏目漱石著) 中編・下編 装幀画稿	1906頃	墨・紙	28.1 × 19.9
33	橋口五葉	『吾輩ハ猫デアル』(夏目漱石著) 下編 装幀画稿	1907	墨・紙	25.5 × 37.0
34	橋口五葉	『彼岸過迄』(夏目漱石著) 表紙画稿	1912	墨・紙	28.1 × 19.8
35	橋口五葉	『行人』(夏目漱石著) 見返し・扉画稿	1913	鉛筆・紙	34.7 × 21.1
36	橋口五葉	黄薔薇	1912	絹本着彩	122.7 × 50.6
37	橋口五葉	『日本アルプス登山案内』 (矢澤米三郎・河野齡蔵著) ポスター	1916	印刷・紙	79.3 × 35.8
38	橋口五葉	耶馬溪	1918	木版・紙	37.2 × 50.1
39	橋口五葉	化粧の女	1918	木版・紙	51.0 × 36.3
40	橋口五葉	手鏡を見る女	1920頃	墨・紙	51.8 × 26.9
41	橋口五葉	髪梳ける女	1920	木版・紙	44.1 × 32.7
42	有島生馬	欄干	1907	油彩・キャンバス	61.8 × 50.3
43	有島生馬	男半身像	1908	油彩・キャンバス	73.0 × 59.7
44	有島生馬	静物	1916	油彩・キャンバス	45.4 × 60.9
45	東郷青児	彼女のすべて	1917	油彩・キャンバス	103.5 × 104.5
46	東郷青児	ギターを持つ女	1929	油彩・キャンバス	116.7 × 60.6
47	東郷青児	きりのない話	1978	油彩・キャンバス	72.8 × 91.0
48	山口長男	構成 (赤)	1955	油彩・板	182.7 × 184.0
49	海老原喜之助	樵夫と熊	1929	油彩・キャンバス	100.0 × 80.3
50	海老原喜之助	厩	1936	油彩・キャンバス	112.2 × 145.5
51	海老原喜之助	サーカス	1970	油彩・キャンバス	60.0 × 74.5
52	海老原喜之助	蝶	不詳	リトグラフ・紙	60.5 × 42.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
53	吉井淳二	女達	1962	油彩・キャンバス	161.8 × 130.5
54	安達真太郎	ドライブラワー	1967	油彩・キャンバス	90.8 × 60.8
55	岩下三四	画室にて	1952	油彩・キャンバス	162.1 × 130.3
56	中間冊夫	うづくまる	1971	油彩・キャンバス	97.0 × 130.3
57	堀之内一誠	窓辺	1977	油彩・キャンバス	116.7 × 90.9
58	大嵩禮造	グラスボックス '73	1973	油彩・キャンバス	162.1 × 130.3
59	伊牟田経正	刻まれた時	1978	油彩・キャンバス	112.1 × 145.6

## ■第2章 珠玉の西洋美術コレクション

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
60	ラファエル・コラン	婦人肖像	1893	油彩・キャンバス	81.2 × 40.7
61	ラファエル・コラン	婦人像	1899	木炭・紙	57.0 × 35.0
62	クロード・モネ	睡蓮	1897-98 頃	油彩・キャンバス	89.0 × 130.0
63	ポール・セザンヌ	北フランスの風景	1885 頃	油彩・キャンバス	45.0 × 53.0
64	オディロン・ルドン	オフィーリア	1901-09 頃	油彩・カルトン	70.0 × 52.8
65	バプロ・ピカソ	貧しき食事	1904	エッチング・紙	46.3 × 37.7
66	ジョルジュ・ブラック	コンポジション	1911	エッチング・紙	35.0 × 21.5
67	ワシリー・カンディンスキー	響き「山々」	1911	木版・紙	11.9 × 18.7
68	ワシリー・カンディンスキー	響き「大いなる復活」	1911	木版・紙	22.0 × 21.8
69	ワシリー・カンディンスキー	小さな世界I	1922	リトグラフ・紙	25.0 × 22.0
70	ワシリー・カンディンスキー	小さな世界V	1922	木版・紙	27.5 × 23.3
71	アンリ・マチス	ジャズ「イカルス」	1947	ステンシル・紙	42.0 × 65.2
72	アンリ・マチス	ジャズ「サーカス」	1947	ステンシル・紙	42.0 × 65.2
73	アンリ・マチス	ジャズ「ピエロの埋葬」	1947	ステンシル・紙	42.0 × 65.2
74	アンドレ・ポーシャン	森に棲む動物達	1930	油彩・キャンバス	83.5 × 100.5
75	藤田嗣治	座る女性と猫	1923	油彩・キャンバス	114.0 × 77.0
76	マックス・エルンスト	博物誌「振り子の起源」	1926	コロタイプ・紙	43.2 × 26.3
77	マックス・エルンスト	博物誌「14才以下のひらめき」	1926	コロタイプ・紙	43.0 × 25.9
78	サルヴァドール・ダリ	三角形の時間	1933	油彩・キャンバス	62.3 × 47.9
79	ジャン・デュビュッフエ	夢遊病者(最終シート)	1961	リトグラフ・紙	63.5 × 45.5
80	ルーチョ・フォンターナ	空間概念(期待)	1961	水性塗料・キャンバス	65.0 × 54.0
81	ヴィクトル・ヴァザルリ	ヴァンクーバー(8)	1981	シルクスクリーン・紙	62.1 × 62.0
82	ジム・ダイン	西海岸の赤いダンサー	1988	木版、エッチング・紙	199.6 × 120.6
83	フランク・ステラ	ブラック・シリーズI「理性と卑しさの結婚」	1967	リトグラフ・紙	38.1 × 55.9
84	フランク・ステラ	シンジェリ・ヴァリエーション4	1977	リトグラフ、スクリーンプリント・紙	81.3 × 107.9
85	アレキサンダー・アーケンペンコ	すわる女	1920	ブロンズ	66.0 × 28.0 × 22.0
86	ヘンリー・ムーア	三つの個体からなる臥像	1975	ブロンズ	69.5 × 112.0 × 69.5
87	マリノ・マリーニ	小さな騎手	1946	ブロンズ	49.8 × 23.5 × 46.0

## ■第3章 とっておきの桜島

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
88	江口晁帆	桜島・天保山・磯山図	1900	絹本着彩	各100.0 × 33.0
89	黒田清輝	桜島爆発図(噴煙)	1914	油彩・板	14.0 × 18.0
90	黒田清輝	桜島爆発図(噴火)	1914	油彩・板	14.0 × 18.0
91	黒田清輝	桜島爆発図(溶岩)	1914	油彩・板	14.0 × 18.0
92	黒田清輝	桜島爆発図(降灰)	1914	油彩・板	14.0 × 18.0
93	黒田清輝	桜島爆発図(荒廃)	1914	油彩・板	14.0 × 18.0
94	黒田清輝	桜島爆発図(湯気)	1914	油彩・板	14.0 × 18.0
95	山下兼秀	桜島爆発図	1914	油彩・キャンバス	47.0 × 32.0
96	梅原龍三郎	霧島(色)	1936-38 頃	鉛筆、水彩・紙	25.3 × 16.5
97	梅原龍三郎	桜島スケッチ 10	不詳	鉛筆・紙	29.8 × 21.3
98	曾宮一念	南岳爆発	1961	油彩・キャンバス	91.2 × 60.6
99	中川一政	桜島	1966	油彩・キャンバス	80.3 × 65.2
100	鱧利彦	山	1965 頃	油彩・キャンバス	80.4 × 100.3
101	大沢昌助	桜島	1988	油彩・キャンバス	72.8 × 91.0



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
102	田村一男	西桜島ゆきのあしたの日本晴	1973	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4
103	留岡彬	月明桜島	1977	油彩・キャンバス	91.0 × 60.6
104	香月泰男	桜島	1972	油彩・キャンバス	91.0 × 60.5
105	西山英雄	薩摩雪	1978	紙本着彩	183.0 × 183.0
106	横山操	暁桜島	不詳	紙本着彩	46.0 × 72.0
107	加山又造	桜島	1961 頃	紙本着彩	71.7 × 90.5

※所蔵先はすべて鹿児島市立美術館



■会期

2023年2月18日(土) ~ 3月26日(日)

■会場

企画展示室

■入場者

9,599人(1日平均300人)

■主催

松本市美術館

■後援

文化庁、長野県

■協賛、

abn長野朝日放送、信濃毎日新聞社、市民タイムス、キッセイ薬品工業株式会社、株式会社アスピア、株式会社井上、MGプレス、株式会社テレビ信州、株式会社テレビ松本ケーブルビジョン、一般社団法人松本芸術文化協会、有限会社中部警備救助、松本商工会議所、有限会社北清水、松田油絵具株式会社、一般社団法人松本観光コンベンション協会

■担当学芸員

大西 哲理、大島 武、村上 萌

〔趣旨・総括〕

2004年より始まった全国公募展「老いるほど若くなる」。当初は3年ごとのトリエンナーレ形式による開催だったが、応募者からの強い希望により第3回展以降は2年ごとのビエンナーレ形式での開催とし、このたび9回目を迎えた。本来であれば2021年度が開催年にあたるが、美術館の大規模改修工事のため実施を見送り、4年ぶりの開催となった。最終的な入場者数は9,599名と、前回の6,806名を大きく上回り、大きな反響があったといえる。

この公募展の応募資格はただ一つ、70歳以上であること。今回から、郵送のほかインターネットでの応募を開始し、2022年11月15日までに44都道府県から481名の応募があった。年代別にみると、80代以上の割合が増え、最高年齢は100歳、平均年齢が77.9歳であった。平均年齢は前回より0.5歳上がっており、精力的に創作活動をする高齢者が多くなっていることがうかがえる。種別では、油彩作品が最多を占めるが、その割合は回を重ねるごとに減少傾向にあり、ミクストメディアやコラージュなど、表現方法が多様化している。

審査員は俳優の檀ふみ氏、ミナ ペルホネンデザイナーの皆川明氏、松本市美術館館長の小川稔が務めた。審査は2022年12月22日に行い、入賞作26点、入選作84点が選ばれた。また、3月12日には表彰式を開催。全国から入賞・入選者が集まり、来賓やスポンサー各位の臨席も得て、晴れの日を祝した。

毎回、鑑賞者からは、“希望”や“パワー”をもらった等の感想が多く寄せられる。それは、年を重ねた作者の人間味や、年を重ねたからこそ見える世界が鑑賞者の心にダイレクトに伝わってくるからであろう。次回も多様な作品との出会いに期待したい。



## ■関連行事

- (1) ゼロからはじめるデッサン講座  
日時：2月24日(金)、3月3日(金)・17日(金)・24日(金)午後6時～8時  
4回連続講座  
講師：津金多朗氏(諏訪清陵高等学校美術科教諭)  
会場：講座室・市民アトリエ  
対象：一般(高校生以上)  
料金：3,000円  
参加者数：24人
- (2) ベビーといっしょにミュージアム  
日時：2月22日(水)午前の部：午前10時～11時、午後の部：午後1時～2時  
講師：信州大学医学部周産期こころの医学講座  
会場：企画展示室  
料金：500円(企画展観覧料)  
参加者数：のべ23人
- (3) 館長によるギャラリートーク  
日時：3月18日(土)午後2時～  
講師：小川稔(松本市美術館館長)  
会場：企画展示室(ただし当日有効の企画展観覧券が必要)  
参加者数：20人
- (4) 表彰式  
日時：3月12日(日)午後2時～3時30分  
会場：多目的ホール  
参加者数：80人(入選・入賞者のほか来賓・スポンサーを含む)

## ■印刷物

- (1) 募集用  
ポスター B2判(カラー)、1,750部  
募集要項 A3判二折り(両面カラー)、53,000部
- (2) 展覧会告知用  
ポスター B2判(カラー)、1,500部  
チラシ A4判(両面カラー)、30,000部

## ■図録

- 規格/A4判、24ページ  
作品図版/カラー 110点  
参考図版/カラー 3点  
執筆/檀ふみ(俳優)、皆川明(ミナペルホネンデザイナー)、小川稔(松本市美術館館長)、武藤美紀、大島武、澁田見彰、稲村純子、大西哲理、村上萌、林風美(以上松本市美術館学芸員)  
編集・発行/松本市美術館  
内容/ごあいさつ
- 図版  
グランプリ  
準グランプリ  
審査員賞  
スポンサー賞  
入選  
応募状況  
審査風景  
全体講評  
檀ふみ、皆川明、小川稔  
掲載作品一覧

[ 出品リスト ]

No.	作家名	年齢	都道府県	作品名	技法・材質	寸法 (cm)	審査結果 [賞名]
1	山口 敏行	71	兵庫県	シマウマスク	アクリル画	116.5 × 90.7	グランプリ 天衣賞
2	武田 光弘	79	長野県	アトムの時代	版画	78.8 × 60.0	準グランプリ 無縫賞
3	山口 賛治	81	京都府	湖北	油彩	116.7 × 116.7	準グランプリ 無縫賞
4	吉田 慶子	80	岐阜県	五月の風	日本画	116.7 × 116.7	審査員賞 榎ふみ選
5	藤原 義弘	78	京都府	空になる「横通岳」	油彩	74.8 × 93.0	審査員賞 皆川明選
6	加藤 明美	74	愛知県	今を生きる	日本画	116.2 × 116.2	審査員賞 小川稔選
7	中野 直樹	76	神奈川	ハロー、スマイル	アクリル画	116.4 × 91.0	abn 長野朝日放送賞
8	波止 富久子	78	愛媛県	想い	油彩、コラージュ	91.0 × 116.7	abn 長野朝日放送賞
9	山本 詢子	77	大阪府	心地の園	油彩	90.0 × 115.6	abn 長野朝日放送賞
10	伊藤 榮	81	愛知県	ペットボトルに魅せられて	版画	104.3 × 74.5	信濃毎日新聞社賞
11	飛田 洋一郎	92	東京都	ペシ岬より利尻山	油彩	44.0 × 51.2	信濃毎日新聞社賞
12	横田 克年	79	長野県	中央アルプス讃歌	切り絵	24.0 × 99.5	信濃毎日新聞社賞
13	石橋 洋一	88	青森県	絆	版画	48.0 × 62.6	市民タイムス賞
14	藤井 ヒロ子	93	岡山県	家族	油彩	91.0 × 116.5	市民タイムス賞
15	エイテル・石川	80	山梨県	今こそ地球はひとつ No5	アクリル画	116.5 × 91.0	キッセイ薬品工業株式会社賞
16	上松 信行	74	福井県	マッターホルンⅣ	油彩	73.0 × 60.7	株式会社アスピア賞
17	橋本 登	81	京都府	私の富士山	油彩	71.5 × 59.5	株式会社井上賞
18	荒深 重徳	70	長野県	時空を超えて	版画	各 16.7 × 14.5	MG プレス賞
19	富美 七朗	85	東京都	思考	アクリル画	116.7 × 90.8	テレビ信州賞
20	佐々部 守征	81	東京都	刺繍に熱中	油彩	116.7 × 116.7	テレビ松本ケーブルビジョン賞
21	柴田 正雄	96	東京都	「馬の火くぐり」昭和時代のノスタルジー	水彩	40.5 × 31.5	一般社団法人松本芸術文化協会賞
22	矢崎 朱実	76	愛知県	King Protea	漆 (箔絵)	116.2 × 80.0	中部警備救助賞
23	増田 祐司	70	埼玉県	冬の日の帰り道	油彩	91.0 × 73.0	松本商工会議所賞
24	北原 啓輔	80	長野県	有明山に神々の声がする時	水彩、パステル	72.8 × 91.0	北清水賞
25	古井 正男	75	愛知県	月を見る	油彩	90.7 × 116.7	マツダ賞
26	深山 重樹	73	東京都	ジャズ・ピアノの即興演奏は僕をブルーにしまった	アクリル画	71.5 × 101.6	一般社団法人松本観光コンベンション協会賞
27	青島 郷子	76	神奈川県	祖母の肖像	パステル	40.0 × 31.0	入選
28	明石 泰一	70	長野県	雪景色	水彩	91.0 × 72.7	入選
29	安部 あけ美	72	大分県	豊夢風景	日本画	39.1 × 54.5	入選
30	あべ おさむ	73	長野県	奥山にて	アクリル画	116.7 × 91.0	入選
31	阿部 香	85	東京都	こ・れ・か・ら	油彩	91.0 × 72.5	入選
32	池田 和子	82	東京都	胸に小鳥を飼う少年	テンペラ・板	50.5 × 44.0	入選
33	石原 晨也	89	愛知県	カニ喰うカキ	水墨画	22.8 × 26.0	入選
34	石原 久男	96	長野県	牡丹	水墨画	66.8 × 33.3	入選
35	磯部 和久	79	愛知県	潜在観念 (無相)	アクリル画	91.0 × 116.7	入選
36	板岡 功雄	84	神奈川県	チーム桃太郎の挑戦	水彩、コラージュ	65.8 × 85.0	入選
37	市川 彰	70	岐阜県	はぁもにいⅡ	版画	22.8 × 27.0	入選
38	一條 満二	89	千葉県	激	水墨画	72.6 × 91.0	入選
39	岩崎 貞男	85	埼玉県	豊饒の大地	アクリル画	45.0 × 52.0	入選
40	岩崎 とみ	88	千葉県	鹿の散歩	水彩	91.0 × 116.5	入選
41	内田 信	92	東京都	絆	アクリル画	60.5 × 80.1	入選
42	梅津 千代子	79	福島県	ベジ会議だよー全員集合	水彩	71.8 × 52.3	入選
43	小穴 竹豊	96	長野県	青い船	油彩	91.0 × 116.7	入選
44	大方 悦子	79	神奈川県	Black cat	アクリル画、コラージュ、 ミクストメディア	105.2 × 105.0	入選
45	大澤 征治	78	千葉県	消えそうな路地裏	油彩	116.7 × 91.0	入選
46	大野 健一	87	神奈川県	明日へ	パステル	51.0 × 43.5	入選
47	岡本 家久生	85	奈良県	月傾きぬ No.6	油彩	70.8 × 59.0	入選
48	小川 耀平	86	長野県	希望一春遠からず	油彩	116.7 × 91.0	入選
49	鎌倉 太郎	75	長野県	明日への祈り	油彩	115.5 × 90.0	入選
50	上條 誠	74	長野県	おばあちゃんの昔話	水彩	56.5 × 76.0	入選
51	川村 政美	79	長野県	こ・と・し・も・さ・い・た	油彩	116.7 × 91.0	入選
52	窪田 多嘉	77	埼玉県	ゆるされるなら、空を飛ばす愛を	水彩	52.0 × 36.0	入選
53	久保原 武子	88	長野県	色めく山	油彩	91.3 × 116.7	入選
54	栗崎 康平	77	千葉県	祈	クレヨン	73.0 × 61.0	入選

No.	作家名	年齢	都道府県	作品名	技法・材質	寸法 (cm)	審査結果【賞名】
55	桑畑 和生	71	岩手県	山への道	油彩	116.7 × 91.0	入選
56	甲賀 保	72	静岡県	マスク X VI	アクリル画	100.0 × 80.0	入選
57	小島 富司	75	神奈川県	芳醇な香りに包まれて	パステル	59.4 × 84.0	入選
58	小林 次男	71	山梨県	MONUMENT13-J	版画	52.0 × 37.0	入選
59	小堀 秋	75	神奈川県	老象	ミクストメディア	116.7 × 116.7	入選
60	齋藤 致	93	栃木県	予言	水彩	72.7 × 102.7	入選
61	斉藤 幸男	78	千葉県	漁港	油彩	113.2 × 112.5	入選
62	笹岡 照子	77	神奈川県	三月十日の観音さま	版画	36.0 × 39.0	入選
63	佐々木 和美	75	広島県	Birth	アクリル画	116.3 × 91.0	入選
64	志賀 きよし	86	東京都	山の絵葉書	コラージュ	64.3 × 48.8	入選
65	柴山 緑楓	82	栃木県	あの山へ	油彩	80.5 × 116.7	入選
66	清水 邦雄	79	鳥取県	左宮	油彩	91.0 × 116.5	入選
67	霜鳥 忍	75	神奈川県	深秋	日本画	65.0 × 91.4	入選
68	菅原 平治	81	千葉県	店仕舞い風化の跡	油彩	116.7 × 91.0	入選
69	杉 哲夫	73	神奈川県	古事記絵図	水彩	107.0 × 77.0	入選
70	須藤 啓子	70	秋田県	一年	油彩	116.5 × 91.0	入選
71	高口 勤	80	北海道	雪の中の疾走	油彩	91.3 × 110.8	入選
72	武井 常雄	76	東京都	ファミリーツリー「家族」	水彩	116.7 × 116.7	入選
73	田中 紀代美	71	兵庫県	家族の絆	油彩	91.0 × 72.7	入選
74	田中 稔	76	静岡県	午後のひととき	油彩	90.0 × 116.5	入選
75	近澤 千恵	73	愛知県	アザミ	版画	71.0 × 100.0	入選
76	寺下 翠	70	長野県	惑星の森	鉛筆、水彩	116.2 × 91.0	入選
77	鳥巢 淑子	88	大阪府	雲外蒼天	水彩	105.0 × 73.0	入選
78	中村 博之	77	神奈川県	空中ブランコのダンサーたち	水彩	60.2 × 45.1	入選
79	中村 元英	93	長野県	安曇野の風景	色鉛筆	23.6 × 33.0	入選
80	那須 弘司	78	長野県	母さんと	油彩	116.7 × 116.7	入選
81	西原 雄二	73	長野県	kalasawa	水彩	77.5 × 104.7	入選
82	野村 由美	72	兵庫県	雪吊り	切り絵	69.8 × 51.0	入選
83	野村 亘	74	神奈川県	my ポストカード 49	パステル	101.7 × 71.7	入選
84	橋本 ひとみ	74	京都府	蓑虫の森	アクリル画	90.8 × 116.7	入選
85	林 美智子	78	茨城県	鯨ののって空を翔ぶ-2022	水彩、色鉛筆	80.1 × 100.0	入選
86	早瀬 美美子	79	大阪府	森の主	油彩	91.3 × 116.7	入選
87	速水 基司	76	愛知県	どうしよう	版画	48.7 × 63.0	入選
88	原 元勝	88	長野県	Soleil d' hiver	油彩	116.7 × 91.0	入選
89	日留川 美和子	75	長野県	脈脈と……	水彩	78.7 × 54.0	入選
90	藤谷 實	88	広島県	夜明	日本画	116.7 × 116.7	入選
91	藤原 美江	81	東京都	祈る	鉛筆	37.5 × 30.0	入選
92	堀内 一光	92	長野県	夜の駅構内	アクリル画	116.7 × 91.0	入選
93	間紀 徹	95	長野県	筍	油彩	61.0 × 72.8	入選
94	増田 史男	78	兵庫県	1200年の伝統を次世代へ	日本画	116.5 × 91.0	入選
95	松井 二郎	73	長野県	スイマー	油彩	91.0 × 116.7	入選
96	松村 芳明	88	石川県	手毬唄	油彩	116.7 × 91.5	入選
97	松本 秀男	87	岐阜県	初雪の山門	水墨画	103.5 × 90.0	入選
98	宮坂 忠篤	83	東京都	逆立ち	油彩	116.7 × 91.0	入選
99	宮下 豊輔	90	長野県	スペイン 丘のある風景	油彩	91.0 × 116.7	入選
100	村瀬 征三	80	神奈川県	大運河	版画	31.0 × 45.0	入選
101	望月 太門	86	長野県	明日に繋ぐ	油彩、パステル	116.7 × 91.0	入選
102	森田 幸	87	高知県	この道は	日本画	116.6 × 91.0	入選
103	弥永 幸男	100	福岡県	耳納連山裾野	水墨画	52.0 × 71.0	入選
104	柳澤 房芳	100	長野県	原点に還る	アクリル画	91.0 × 116.7	入選
105	山口 修	76	東京都	ずーとまえ	油彩	80.5 × 65.0	入選
106	山路 徹	82	岐阜県	変貌骸骨遊園地	油彩	116.3 × 116.3	入選
107	山田 和夫	82	長野県	我が像	油彩	116.7 × 91.0	入選
108	米澤 俊	84	和歌山県	島からの便り	油彩	116.6 × 116.5	入選
109	渡邊 和子	81	愛知県	能取湖サンゴ草	アクリル画	50.4 × 66.0	入選
110	渡部 和夫	79	東京都	両者の平和	水彩、マジック、色鉛筆	85.0 × 66.0	入選

## 特集展示 草間彌生 魂のおきどころ

### ■会期

第1期：2022年4月21日（木）～7月10日（日）  
第2期：2022年7月12日（火）～10月23日（日）  
第3期：2022年10月25日（火）～  
2023年2月12日（日）  
第4期：2023年2月14日（火）～5月21日（日）

### ■会場

コレクション展示室A・B・C

### ■担当学芸員

瀧田見 彰

### 【ごあいさつパネル】

世界規模で活躍を続ける前衛芸術家・草間彌生。その比類ない創作活動をたどる特集展示を、生誕の地・松本で開催いたします。

草間彌生は1929年、松本に生まれます。少女時代は、心の中から湧き上がる幻覚との闘いの日々でした。それらのイメージを小さな紙片に描き留めることが、草間芸術の原点のひとつと言えるでしょう。松本、東京での個展を経て1957年に単身渡米し、ニューヨークを拠点に約16年間活動します。心の中から湧きあがる何かは、いつしか水玉、網目という存在に凝縮されていきます。そして、平面作品、立体作品、パフォーマンスアート、空間芸術、映像作品など様々な形となり、拡がっていきました。1973年に帰国し、拠点を東京へと移した後も精力的に制作を続けています。

今から約60年前、草間は何を感じ、苦しみ、悩み、どのような希望を胸に、故郷を離れたのでしょうか。なぜに草間芸術はこうも高らかに愛と平和を謳いあげることができるのでしょうか。どうしてこれほどまでに世界中の多くの人たちに求められるようになったのでしょうか。

本展示では、松本時代の初期作品から近作シリーズ「わが永遠の魂」へとつながる草間彌生の魂の軌跡を、多様な表現方法による作品をとおしてご紹介いたします。

結びに、本展を開催するにあたり、惜しみない御協力をいただきました草間彌生氏に厚く御礼申し上げます。



《大いなる巨大な南瓜》2017年 © YAYOI KUSAMA

[ 出品リスト ]

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵	展示
1	机上	1950	油彩ほか・麻布 (種袋)	80.4 × 65.5	作家	2
2	陽は沈む	1951	油彩・キャンバス	53.4 × 45.6	作家	1
3	(無題)	1952	インク、パステル・紙	26.2 × 18.8	作家	4
4	アキュミレーション	1952	油彩・厚紙	40.5 × 30.3	作家	1
5	(無題)	1950年代	油彩、水彩・紙	84.8 × 71.0	作家	4
6	(無題)	1953	インク、水彩、パステル・紙	39.7 × 22.2		1・3
7	風神	1955	油彩・キャンバス	51.5 × 64.0	作家	2
8	無限の網 B	1965	油彩・キャンバス	132.0 × 126.0	作家	2
9	無限の網 C	1965	油彩・キャンバス	131.0 × 127.0	作家	1
10	魂のをきどころ	1975	コラージュ、グワッシュ・紙	54.4 × 39.4		4
11	命の花ひらく	1975	木炭、グワッシュ、コラージュ・紙	39.6 × 54.2		2
12	水に映った蔭	1977	コラージュ、グワッシュ・紙	65.6 × 51.0		1
13	夜半	1981	アクリル、パステル、インク、コラージュ・紙	66.5 × 51.5		3
14	鳥	1983	アクリル、パステル、インク、コラージュ・紙	65.7 × 51.2		3
15	月の夜	1985	ミクストメディア	213.0 × 157.0 × 90.0	作家	1
16	沼にまよいて	1995	墨、アクリル、パステル、コラージュ・イラストボード	103.0 × 72.5		4
17	鏡の通路	1996	ミクストメディア	—	作家	1・2・3・4
18	幻影の彼方	1997	ミクストメディア	183.0 × 184.0 × 20.0	作家	4
19	ゴッド・ハート	2000	ミクストメディア	98.9 × 100.0 × 10.0	作家	1・2・3・4
20	Infinity Nets 雪原	2001	アクリル・キャンバス	227.3 × 545.4		3
21	銀河 (レベティティブ・ビジョン)	2002	アクリル・キャンバス	130.3 × 162.0		2
22	魂の灯	2008	ミクストメディア	287.4 × 415.0 × 415.0	作家	1・2・3・4
23	果てしない人間の一生	2010	アクリル・キャンバス	194.0 × 194.0		1・2・4
24	燃え上がる恋の記録	2010	アクリル・キャンバス	194.0 × 194.0		3
25	傷みのシャンデリア	2011	ミクストメディア	H 245.0、直径 160.0	作家	1・2・3・4
26	宇宙旅行	2012	アクリル・キャンバス	194.0 × 194.0		3
27	天国への梯子	2012	ミクストメディア	H 383.0、直径 150.0		1・2・3・4
28	命	2014	ミクストメディア	15点組: サイズ可変	作家	1・2・3・4
29	大いなる巨大な南瓜	2017	ミクストメディア	H 245.0、直径 260.0		1・2・3・4
30	白い河が流れてゆく	2018	アクリル・キャンバス	100.0 × 100.0	作家	1・2
31	こんなに美しい愛と人生を見つけた私たち	2019	アクリル・キャンバス	100.0 × 100.0	作家	4
32	宇宙が創り上げた哲学のすべて	2019	アクリル・キャンバス	100.0 × 100.0	作家	1・2
33	赤い太陽の孤独	2019	アクリル・キャンバス	100.0 × 100.0	作家	4
34	わが人生の道すじで永遠に抱いた愛の住処	2020	アクリル・キャンバス	100.0 × 100.0	作家	1・2
35	人の世の愛のすべてをみよう	2020	アクリル・キャンバス	100.0 × 100.0	作家	4
36	人生の中に住んでいた私の日々に見つけた 神からのたくさんの教えてくれた光	2020	アクリル・キャンバス	100.0 × 100.0	作家	1・2
37	悲しみの日々をこえて	2020	アクリル・キャンバス	100.0 × 100.0	作家	4

※展示 1 : 2022.4.21 - 7.10  
 展示 2 : 2022.7.12 - 10.23  
 展示 3 : 2022.10.25 - 2023.2.12  
 展示 4 : 2023.2.14 - 5.21

## 第2期コレクション展示

### ■会期

2022年7月12日(火)～10月16日(日)

### ■会場

上條信山記念展示室、田村一男記念展示室、池上  
百竹亭コレクション展示室

### ■担当学芸員

大西 哲理、村上 萌、林 風美

### 〔趣旨・総括〕

大規模改修工事後のリニューアルオープンに伴い、「コレクション展示」と称して、各記念展示室にて当館の代表的な収蔵作品や新収蔵作品を展覧していくこととなった。2022年度の第2期コレクション展示では、日本画、洋画、書、彫刻など多岐にわたる作品を紹介し、当館のコレクションの多様さを知っていただくよい機会となった。

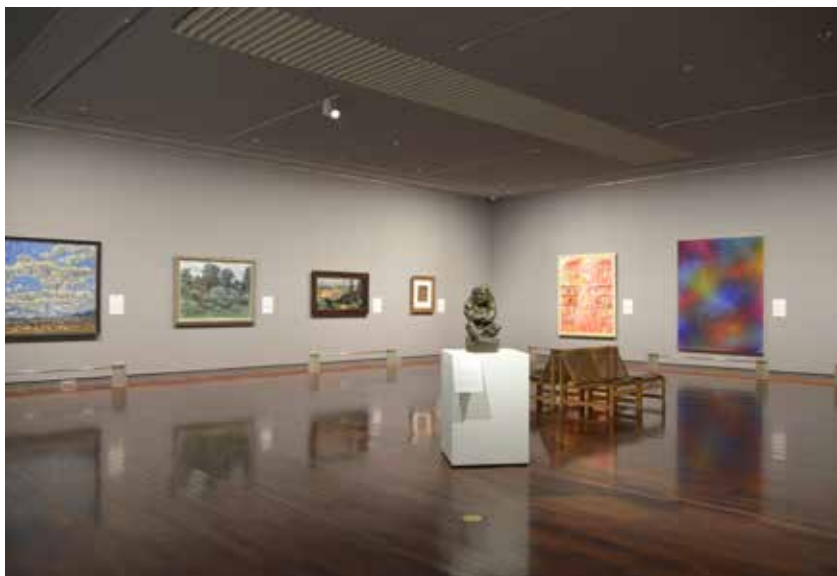
### 〔ごあいさつパネル〕

開館20周年の節目にあたる2022年、松本市美術館はリニューアルオープンしました。メモリアルイヤーの第2期コレクション展示へご来場いただき、ありがとうございます。

第1会場（上條信山記念展示室）では、美術館が所蔵する、時代もジャンルもさまざまな作家の代表作をご紹介します。夏から秋にかけての風景画や、風俗画、抽象画、工芸、彫刻など当館ならではのコレクションをご堪能ください。

第2会場（田村一男記念展示室）では、今年生誕100年を迎えた藤松博（1922～1996年）の作品を中心に、同時代に活動した作家の作品を展示いたします。戦後に台頭するこの世代の若者たちの中には、既存の価値観への反発から、いわゆる“画壇”に所属することなく、自らの実力だけを頼りとして、誰もやったことのない美術を目指した人々が数多くいました。その実験的な試みにご注目いただければ幸いです。

第3会場（池上百竹亭コレクション展示室）では、書作品のコレクションから、珠玉の逸品を厳選してご紹介します。各作家の多様な表現をお楽しみください。





[ 出品リスト ]

■第1会場（上條信山記念展示室）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	石井柏亭	中信酒客	1953	油彩・キャンバス	72.2 × 91.2
2	石井鶴三	森の男	1961	ブロンズ	55.5 × 26.0 × 37.0
3	高島仁	盆踊り	1960	水彩・紙	67.2 × 103.1
4	池田満寿夫	令嬢ジュリー	1983	銅板メゾチント・紙	36.0 × 30.0
5	田中一光	JAPAN	1986	オフセット・紙	103.0 × 72.8
6	奥村光正	草上 (on the grass)	1971	油彩・キャンバス	162.5 × 193.9
7	根岸芳郎	8-6-17	2008	アクリル・綿布	208.0 × 160.0
8	佐々木豊	September of 11th	2008	油彩・キャンバス	162.1 × 130.3
9	滝川太郎	瞰望夏景	1927	油彩・キャンバス	61.5 × 116.5
10	三代澤本寿	サマルカンドの枝垂桑	1991	型絵染・和紙	130.0 × 54.5
11	北野太郎	風	不詳	水彩・紙	97.1 × 130.0
12	関四郎五郎	アルプスの空	1968	油彩・キャンバス	130.2 × 160.9
13	滝沢具幸	連山	2002	紙本着色	130.0 × 193.9
14	西郷孤月	月下飛鷺	1900頃	絹本着色	122.4 × 49.3
15	郷原古統	蓬瀛	1914	絹本着色	各 112.0 × 42.0

■第2会場（田村一男記念展示室）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
16	藤松博	花火	1952	インク・紙	25.8 × 18.0
17	藤松博	X氏とY氏と女達	1952	油彩・キャンバス	37.0 × 45.0
18	草間彌生	都会の雨	1952	インク、パステル・紙	35.6 × 25.2
19	利根山光人	風景	1950年代	リトグラフ・紙	45.0 × 64.0
20	吉沢伝	魚	1952	油彩・キャンバス	72.0 × 60.5
21	大貫梯二	牛と女	1955	油彩・キャンバス	72.0 × 60.5
22	堀内康司	(冬の太陽)	1955	鉛筆、色鉛筆、パステル、グアッシュ・紙	47.5 × 64.0
23	藤松博	きざし	1955	油彩・キャンバス	79.3 × 60.0
24	阿部展也	人物	1956	油彩・キャンバス	100.0 × 80.0
25	藤松博	破	1957	油彩・キャンバス	161.0 × 130.3
26	大須賀政一	トリ、争	1958	油彩・板	73.1 × 93.1
27	山崎温	作品 65-B	1965	油彩・キャンバス	145.3 × 112.1
28	藤松博	(無題)	1961	インク、水彩、貼り紙・紙	58.0 × 87.0
29	藤松博	(無題)	1961	木炭、水彩	48.5 × 32.5
30	藤松博	(無題)	1960	油彩・キャンバス	131.5 × 130.0
31	藤松博	紫煙層面 No.36	1966	水彩、煤・紙	38.2 × 27.0
32	松澤宥	プサイ函 (松澤宥展案内状)	1969	印刷・紙	24.0 × 18.0 × 5.0
33	藤松博	2月の最後の日曜日	1964	インク、水彩・紙	37.8 × 23.5
34	藤松博	街鏡	1965	油彩・キャンバス	80.0 × 60.5
35	藤松博	旅人	1977	油彩・キャンバス	65.0 × 80.0
36	藤松博	旅人 4	1978	油彩・キャンバス	80.1 × 60.2
37	藤松博	旅人 6	1979	油彩・キャンバス	65.0 × 45.0

■第3会場（池上百竹亭コレクション展示室）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
38	宮島詠士	杜牧詩「酔後題僧院」	不詳	紙本墨書	98.0 × 26.5
39	秋山白巖	万歳	1938	紙本墨書	138.5 × 69.0
40	西川寧	『詩経』小雅「天保」一節	1952	紙本墨書	132.6 × 44.6
41	徐三庚	天堯神識碑臨書	1887	紙本墨書	各 130.8 × 31.4
42	秋山白巖	王勃「滕王閣序」	1945頃	紙本墨書	32.7 × 995.3
43	張廉卿	真蹟帖冊	不詳	紙本墨書	30.5 × 42.5

## 第4期コレクション展示

■会期

2023年1月11日(水)～4月23日(日)

■会場

上條信山記念展示室、田村一男記念展示室

■担当学芸員

林 風美、大西 哲理、村上 萌

〔趣旨・総括〕

当館が2018年度から2020年度に収蔵した作品のうち15点を、これまで収集してきた代表的な収蔵品とともに展観した。2020年に当館で企画展を行った染色家・柚木沙弥郎の作品をはじめ、時代や技法の異なる多様な作品を紹介した。

〔ごあいさつパネル〕

松本市美術館は2002年の開館以来、館の方針に沿った継続的な作品収集に努めています。美術資料の収集は、公立美術館が担う重要な役割のひとつであるとともに、貴重な文化を後世に伝えることでもあります。

今回のコレクション展示では、2018年度から2020年度までに新たに収蔵した作品とともに、これまで収集してきたコレクションより、冬から春にかけての風景画や抽象画、工芸などさまざまなジャンルの作品をご紹介します。

新収蔵として初お披露目するのは、信州の民藝運動の普及に貢献した染色家・三代澤本寿、柚木沙弥郎の作品をはじめ、70歳以上の公募による美術展「第8回 老いるほど若くなる」グランプリ受賞作品や、松本の美術史を探るうえで貴重な作品の数々となります。

ますます充実する松本市美術館ならではのコレクションをお楽しみください。



[ 出品リスト ]

■第1会場（上條信山記念展示室）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	三代澤本寿	絹の道の枝垂桑	1992	型染・強製紙	186.0 × 159.0
2	三代澤本寿	潮	1970	型染・強製紙	200.0 × 222.0
3	柚木沙弥郎	鳥獸戯画	2019	水彩・アルシュ紙	114.0 × 1193.0
4	柚木沙弥郎	木もれ陽	2019	型染・木綿	226.0 × 173.0
5	柚木沙弥郎	いのちの樹	2018	型染・絹	240.0 × 128.0
6	柚木沙弥郎	無題 2019	2019	型染・木綿	198.0 × 173.0
7	中林梧竹	五言絶句	1903	紙本墨書	136.0 × 48.3
8	中林梧竹	竹図	1900 前後	紙本墨画	134.5 × 54.0
9	棟方志功	倭絵 千手観音杉膳井戸縁起図	1961	紙本着色	60.0 × 29.3
10	窪田松門	山水図	1900 前後	紙本墨画着色	各 137.5 × 50.0

■第2会場（田村一男記念展示室）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
11	滝川太郎	(無題、街景)	1928	油彩・キャンバス	91.0 × 115.7
12	仙石牛鹿(翠淵)	埴原村田植図	1882	紙本着色	165.0 × 117.0
13	家近健二	想	2018	アクリル・紙	116.7 × 116.7
14	高村光太郎	松岡玉治郎像	1913	油彩・キャンバス	44.4 × 31.8
15	関四郎五郎	春雪	1956	油彩・キャンバス	65.1 × 80.3
16	小林邦	早春浅間山	1979	油彩・キャンバス	91.3 × 106.8
17	高橋節郎	樹下好景	1986	鎗金、螺鈿・漆	92.1 × 126.4
18	中野嘉之	雨過天晴	2002	紙本着色	114.0 × 219.3
19	田淵俊夫	あずみ野	2002	着色、プラチナ引・紙本	116.7 × 90.9
20	木村辰彦	小さな花と犬	1962	油彩・キャンバス	100.0 × 80.0
21	上地瑛一郎	煙霧(八ヶ岳)	1988	紙本着色	91.0 × 65.2
22	石垣定哉	黎明・松本平	2002	油彩・キャンバス	161.8 × 194.8
23	宮坂勝	スケート	1946	油彩・キャンバス	91.0 × 116.7
24	手塚恒二	雪の街	1982	水彩・紙	71.5 × 97.5
25	横地康國	国生み	1974	油彩・キャンバス	130.3 × 162.1
26	飯沼一道	水田シリーズより 安曇野黎明	2002	油彩・キャンバス	130.3 × 162.1
27	河越虎之進	婦人の朝	1930	油彩・キャンバス	116.5 × 80.5

## 上條信山記念展示室

## ■各展示の概要

1期「日展出品作を中心に」

- 会期／2022年4月21日(木)～7月10日(日)  
リニューアルオープンにあわせ、上條信山が「日本の書の現代的水準と方向性を示す最も重要な展覧会」と位置づけて制作した日展出品作を中心に、代表作の数々を展覧した。

3期「拓本で巡る県外・国外に建つ上條信山揮毫碑」「昭和の書①」

- 会期／2022年10月18日(火)～  
2023年1月9日(月祝)

上條信山が揮毫した石碑について、2014年度に松本平を中心に、2018年度は長野県内にある数々を拓本で紹介したのに続き、県外や国外に建つ石碑に焦点を当てて展示した。

併せて、秋山白巖(1865～1954、上條信山が少年時代に弟子入りした師)の米寿を祝い贈られた作品(当時の書壇を代表する巨匠や気鋭の書家ら約70作家が会派を超えて贈ったもの)の中から、上條信山と同時期に「現代書道二十人展」へ出品した作家7名(青山杉雨、小坂奇石、手島右卿、殿村藍田、廣津雲仙、宮本竹逯、村上三島)の書を展示。昭和の書を牽引した作家たちの多様な表現を紹介した。

※2・4期は資料室展示のみ

## ■担当学芸員

大島 武、大西 哲理

## 〔趣旨・総括〕

いつ、誰からともなく「信山バリ」と呼ばれたその書風は、ある時は爽やかな風を見るものを感じさせ、またある時は躍動する墨で魂をゆさぶる。そこに一貫してみてとれるのは、まっすぐな潔さ(直)と心にある力強さ(骨)であり、書家・上條信山(1907-97)の生きざまそのものである。

上條信山(本名・周一)は、長野県東筑摩郡神林村(現松本市神林)に生まれた。貧しい農家であって、「百姓の俵は百姓をやればいいんだ」と言った厳父も、周一少年の書道に対する素質には一目おいており、秋山白巖への内弟子ならばよいと認めた。やがて、白巖からの薦めで松本教育実業学校へ進学し、小学校教員である訓導の仮免許状を取得、更に持ち前の向学心で、当時では親の援助を得ずに進学できる唯一の手段であった師範学校(旧長野師範学校、現信州大学)へと進む。在学時は、長野師範野球部のエースとして、また書では比田井天来に認められるなど、その才能を開花した。「信山」の号は、この時、「信州に聳ゆる山」の意から天来より授かったものである。その後、本格的に書と漢学を志し上京。比田井天来や田代秋鶴と交わり書学につとめながら、漢学を大東文化学院(現大東文化大学)で修めた。

1935年、当時奉職していた成蹊学園の父兄筋を辿り、かねてからの憧れであり、人生最大の影響者となる宮島詠士への師事が叶う。それから詠士が他界する1943年まで、師の教えを貫いて九成宮體泉銘(唐・歐陽詢)と張猛龍碑(北魏)の臨書につとめ、後の信山書風を切り拓く基礎を体得する。以後も意欲的に各書体に挑み、肉厚な顔法(唐・顔真卿の書法)を取り入れて独自の書風を築いた。

書の制作活動のほか、毛筆教育の復活と発展への運動、海外での書の普及、日中友好親善活動が特筆される。戦後、学校から毛筆教育が廃止された時、教育課程審議会委員として基礎理論の体系を構築し復活へと導き、その後も書教育の発展のために全国巡回講演を行うなど尽力した。幾度も足を運んだ海外では、当地の芸術家と書の芸術性についてディスカッションをし、デモンストレーションを行うなど、書の国際性を広くアピールした。中国においては、自身の師・宮島詠士と、その師、中国清代の張廉卿の国境を越えた師弟愛の顕彰活動を通じて、日中の友好に心を注いだ。

1989年12月、「作品を末永く保存し、今後の書教育および芸術教育に役立ててほしい」と願った氏は、生涯にわたる代表作と自ら蒐集した先師・張廉卿、宮島詠士作品を長野市の信濃教育会へ寄贈した。それが1995年12月に一括して松本市へ移管され、さらに逝去の翌年1998年3月に、自宅で保管されていた作品・習作が遺族より寄贈された。



[ 出品リスト ]

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	形態	寸法 (cm)	主要展覧会	展示
1	上條信山	守清虚	1966	紙本墨書	額	159.0 × 57.5	第 9 回新日展	1
2	上條信山	谷神不死	1962	紙本墨書	額	202.3 × 68.2	第 5 回新日展	1
3	上條信山	篤敬	1967	紙本墨書	額	67.1 × 136.7	第 10 回新日展	1
4	上條信山	堅勁	1969	紙本墨書	額	132.2 × 60.4	改組第 1 回日展	1
5	上條信山	壽康	1970	紙本墨書	額	108.2 × 63.8	改組第 2 回日展	1
6	上條信山	金石之交	1971	紙本墨書	額	69.0 × 130.4	改組第 3 回日展	1
7	上條信山	深藏	1973	紙本墨書	額	136.0 × 68.0	改組第 5 回日展	1
8	上條信山	超脱	1975	紙本墨書	額	58.6 × 139.0	改組第 7 回日展	1
9	上條信山	山光照我	1976	紙本墨書	額	215.7 × 65.2	改組第 8 回日展	1
10	上條信山	絶妙	1972	紙本墨書	額	51.5 × 120.0	改組第 4 回日展	1
11	上條信山	無為	1984	紙本墨書	額	111.5 × 69.0	改組第 16 回日展	1
12	上條信山	相忘	1979	紙本墨書	額	90.0 × 164.0	改組第 11 回日展	1
13	上條信山	義	1985	紙本墨書	額	112.0 × 91.5	改組第 17 回日展	1
14	上條信山	壯心	1987	紙本墨書	額	81.8 × 153.2	改組第 19 回日展	1
15	上條信山	竹柏勁心	1994	紙本墨書	額	184.0 × 68.5	改組第 26 回日展	1
16	上條信山	不如守中	1964	紙本墨書	軸	229.2 × 52.4	第 7 回新日展	1
17	上條信山	臨 孔宙碑	1983	紙本墨書	軸	227.5 × 52.8	松本個展	1
18	上條信山	一忍支百勇	1986	紙本墨書	軸	236.5 × 51.1	改組第 18 回日展	1
19	上條信山	藤原顕綱のうた	1983	彩箋墨書	軸	197.8 × 58.3	松本個展	1
20	上條信山	臨 張猛龍碑	1943	紙本墨書	軸	132.1 × 28.8	日滿支三国展	1
21	上條信山	光	1984	紙本墨書	額	68.4 × 68.4	第 1 回読売新鋭展	1 資
22	上條信山	孟浩然詩「春暁」	1982	紙本墨書	額	136.6 × 22.4	第 26 回現代書道二十人展	1 資
23	上條信山	執	1971	紙本墨書	軸	122.2 × 70.0	第 20 回書象展	1 資
24	上條信山	戴叔倫詩「三閭廟」	不詳	紙本墨書	額	138.5 × 51.3		2 資
25	上條信山	心如流水浄	不詳	紙本墨書	額	57.7 × 34.6		2 資
26	上條信山	張詠詩五律二首	1976	紙本墨書	額	82.2 × 22.3		2 資
27	上條信山	自牧	1973	紙本墨書	額	65.8 × 68.6	毎日現代書展	2 資
28	上條信山	朱熹詩一節	1968	紙本墨書	軸	137.7 × 34.4	還暦個展	2 資
29	上條信山	左京大夫顕輔のうた	不詳	彩箋墨書	軸	136.6 × 34.6		2 資
30	上條信山	邀月	1985	紙本墨書	額	135.8 × 68.4	第 2 回読売書法展	2 資
31	上條信山	古絃碑	1951	紙本墨拓	軸	136.0 × 107.8		3
32	上條信山	高橋翁頌徳碑	1953	紙本墨拓	軸	167.7 × 83.6		3
33	上條信山	藤田謙陽先生碑	1965	紙本墨拓	軸	152.7 × 71.8		3
34	上條信山	橋本登美三郎先生顕彰碑	1966	紙本墨拓	横披	47.2 × 146.4		3
35	上條信山	「吾等讀えん…」成蹊学園碑	1983	紙本墨拓	軸	74.3 × 110.7		3
36	上條信山	長寿村欄原碑	1977	紙本墨拓	軸	192.0 × 164.5		3
37	上條信山	東京医科大学校歌碑	1986	紙本墨拓	軸	175.0 × 278.5		3
38	上條信山	教育勅語碑	1978	紙本墨拓	軸	88.0 × 165.8		3
39	上條信山	張裕釗・宮島大八 師生紀念碑 碑陽	1986	紙本墨拓	軸	202.5 × 68.8		3
40	上條信山	張裕釗・宮島大八 師生紀念碑 碑陰	1986	紙本墨拓	軸	188.8 × 83.5		3
41	上條信山	張裕釗・宮島詠士師生紀念碑	1994	紙本墨拓	軸	145.3 × 68.5		3
42	上條信山	張裕釗公墓碑	1994	紙本墨拓	軸	123.8 × 68.9		3
43	青山杉雨	韋應物詩「答李瀚」	1952	紙本墨書	軸	66.0 × 33.3		3
44	小坂奇石	五言絶句	1952	紙本墨書	軸	135.5 × 34.4		3
45	手島右卿	高蟾詩「金陵晚眺」	1952	紙本墨書	軸	133.9 × 33.1		3
46	殿村藍田	七言絶句	1952	紙本墨書	軸	136.3 × 30.9		3
47	廣津雲仙	無量寿	1952	紙本墨書	軸	106.9 × 29.8		3
48	宮本竹逕	西行のうた	1952	紙本墨書	軸	136.0 × 33.7		3
49	村上三島	目前無異路	1952	紙本墨書	軸	45.0 × 68.8		3
50	上條信山	和而不同	不詳	紙本墨書	額	69.7 × 69.5		3 資
51	上條信山	放牛	不詳	紙本墨書	額	68.5 × 34.4		3 資
52	上條信山	湯原王のうた	不詳	紙本墨書	軸	137.5 × 33.6		3 資
53	上條信山	戴叔倫詩「三閭廟」	不詳	紙本墨書	軸	135.5 × 22.2		3 資
54	上條信山	波濤	1986	紙本墨書	額	136.2 × 68.8		3 資

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	形態	寸法 (cm)	主要展覧会	展示
55	上條信山	慈眼童心	不詳	紙本墨書	額	55.8 × 34.4		4 資
56	上條信山	臨 張猛龍碑	不詳	紙本墨書	額	69.8 × 33.8		4 資
57	上條信山	不老	1982	紙本墨書	額	69.4 × 68.4	毎日日本書展 100 人展	4 資
58	上條信山	万葉集のうた	不詳	紙本墨書	軸	134.8 × 31.8		4 資
59	上條信山	李頰詩「湘中送友人」	1982	紙本墨書	軸	134.5 × 22.6		4 資
60	上條信山	大道無門	不詳	紙本墨書	額	69.5 × 69.7		4 資
61	上條信山	直如弦	1971	紙本墨書	額	134.0 × 64.5	第 33 回謙慎展	4 資

※制作年…拓本の場合は、石碑の建立年

※展示区分に資のある作品は、資料室（記念室手前の小部屋）で展示

※展示 1…2022.4.21 ~ 7.10

展示 2…2022.7.12 ~ 10.16

展示 3…2022.10.18 ~ 2023.1.9

展示 4…2023.1.11 ~ 4.23

## 田村一男記念展示室

## ■各展示の概要

## 1期「日展出品作を中心に」

- 会期／2022年4月21日(木)～7月10日(日)  
リニューアルオープンにあわせ、田村一男が  
日展に出品した作品を中心に、代表作の数々を  
展覧した。

## 3期「晩秋から冬、桜島とともに」

- 会期／2022年10月18日(火)～  
2023年1月9日(月祝)

「鹿児島市立美術館 名品展」の開催(10月8日～11月27日)に合わせ、田村一男の描いた桜島を紹介。田村は生涯の制作時間で、信州での取材が最も多くの時間を費やしたであろうが、桜島も生涯を通じて多数制作された題材である。桜島を中心に九州南部で取材した油彩画を紹介。合わせて、田村が好んで描いた日本の風景のなかから、晩秋から冬にかけての時期を題材にした作品も紹介した。

※2・4期は資料室展示のみ

## ■担当学芸員

武藤 美紀、村上 萌

## 〔趣旨・総括〕

日本の暗い色の大地を好み、穏やかな山容を描き続けた洋画家・田村一男(1904～97)。冬の野山に身を置き、その寂しく厳しい空気を感じながらそれを画面に描きとめることに自らの画業を見いだしていたが、田村の描く冬景色は凍てつく寒さよりもすべてを包容する温かさに満ちている。それは、田村自身の心根を静かに映し出しているように感じるのである。

田村一男は1904年に現在の東京都中野区に生まれた。生活は裕福とは言えず、13歳のときには給仕として働き始めていた。16歳のとき新聞社に転職し、その新聞社のならびにあった磯谷洋風額縁店に出入りする画家たちの人柄に惹かれるようになった。20歳のとき、この額縁店に住み込みで入店し、一方で岡田三郎助の主宰する本郷洋画研究所に入所。昼間は額縁制作に従事し、仕事が終わってから夜間生として絵の勉強に励んでいた。そのころ、同じ研究所仲間の彫刻家・矢崎虎夫に誘われて彼の故郷である長野県蓼科を訪れた。貧しく旅行などしたことのない田村は初めて見る広大な高原に感銘を受け、以後の田村はおもな画題を高原・山に求めることとなった。

50歳のとき、機会を得てヨーロッパに渡り10ヶ月間滞在した。その間に描いた作品は油彩120枚、スケッチ600枚を数え、また現地に滞在する日本人画家たちとも交流するなど、精神的に活動した。しかし、一方でこの旅は田村に「自分が描く題材は日本の風景にある」と結論づけた。田村が好んで使う海景用のキャンバスには田村の目線で描いた日本の山々の塊がゆったりと広がる。

生前、田村一男が「自分の作品を信州のどこかに寄贈したい」との考えから松本市が美術館への記念展示室設置へと動き、やがて200点あまりの作品が松本市に寄贈され、美術館の開館と同時に記念展示室がオープンした。田村一男は自身の記念展示室オープンを見ることなく92歳の生涯を閉じた。今年度から記念展示室では1年に2回の展示で、所蔵する田村作品から田村の作品制作が通覧できるようセレクトし、展示をしている。



[ 出品リスト ]

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	展示
1	霧ヶ峰	1941	油彩・キャンバス	60.6 × 91.0	1
2	小斎の谷	1951	油彩・キャンバス	116.7 × 72.7	1
3	桜島雪	1953	油彩・キャンバス	100.0 × 65.2	1
4	グラナダの丘	1956	油彩・キャンバス	116.7 × 72.7	1
5	春谷	1960	油彩・キャンバス	97.0 × 145.5	1
6	高層湿原地帯	1965	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
7	陽月	1971	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	1
8	白月	1974	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	1
9	明けゆく立山への道	1975	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	1
10	冬声	1976	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	1
11	白の世界の肖像	1977	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	1
12	白霊	1981	油彩・キャンバス	162.0 × 97.0	1
13	北信濃	1984	油彩・キャンバス	162.0 × 97.0	1
14	ゆきのくに	1985	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	1
15	やまなみ	1988	油彩・キャンバス	130.3 × 194.0	1
16	高原	1989	油彩・キャンバス	130.3 × 194.0	1
17	五竜	1990	油彩・キャンバス	130.3 × 194.0	1
18	冬丘・御射山高原	1992	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
19	白馬くもる	1993	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
20	蓼科高原	1995	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
21	爽原	1995	油彩・キャンバス	38.0 × 45.5	1
22	蓼科高原	1996	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	1
23	蓼科山	1952	油彩・キャンバス	72.7 × 60.6	2
24	待春 (白樺湖附近)	1974	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	2
25	蓼科山冬景	1981	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	2
26	早春蓼科山	1986	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	2
27	冬の丘	1988	油彩・キャンバス	162.0 × 97.0	2
28	蓼科山	1993	油彩・キャンバス	31.8 × 41.0	2
29	たてしな山	1996	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	2
30	桜島雪	1953	油彩・キャンバス	100.0 × 65.2	3
31	ゆきのあした (桜島)	1960-65	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
32	桜島	1960	油彩・キャンバス	116.7 × 72.7	3
33	北越雪	1961	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
34	磐越雪	1964	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
35	薩南雪天	1970	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
36	陽月	1971	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
37	黒神より桜島	1973	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
38	晩秋	1973	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
39	春暁	1974	油彩・キャンバス	145.5 × 89.4	3
40	高原	1978	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
41	北の国	1981	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
42	冬瀑	1983	油彩・キャンバス	162.0 × 97.0	3
43	冬原	1984	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
44	ふゆはれ	1988	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
45	那須	1990	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
46	袋田の丘	1990	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
47	桜島	1990	油彩・キャンバス	31.8 × 41.0	3
48	桜島	1990	油彩・キャンバス	31.8 × 41.0	3
49	ゆきの丘	1991	油彩・キャンバス	89.4 × 145.5	3
50	桜島	1992	油彩・キャンバス	31.8 × 41.0	3
51	桜島・緑の噴煙	1992	油彩・キャンバス	27.3 × 22.0	3
52	桜島	1992	油彩・キャンバス	22.7 × 15.8	3
53	えびの高原	1996	油彩・キャンバス	31.8 × 41.0	3
54	噴煙 (桜島)	不詳	油彩・キャンバス	24.2 × 33.3	3
55	冬丘	1954	油彩・キャンバス	91.0 × 60.6	4



No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	展示
56	丘	1962	油彩・キャンバス	116.7 × 72.7	4
57	飯綱山早春	1970-74	油彩・キャンバス	38.0 × 47.0	4
58	北信雪山	1970-74	油彩・キャンバス	38.0 × 47.0	4
59	妙高連峰雪	c.1977	油彩・キャンバス	31.8 × 41.0	4
60	白樺湖畔冬景	1982	油彩・キャンバス	60.6 × 72.7	4
61	三原山冬景 (御神火茶屋にて)	1987	油彩・キャンバス	41.0 × 53.0	4
62	五竜	1995	油彩・キャンバス	41.0 × 53.0	4

※展示1…2022.4.21～7.10  
 展示2…2022.7.12～10.16  
 展示3…2022.10.18～2023.1.9  
 展示4…2023.1.11～4.23

## 池上百竹亭コレクション

## ■各展示の概要

## 1「コレクションの始まり」

●会期／2022年4月21日(木)～7月10日(日)

松本市の商家に生まれた喜作は、国の重要美術品に指定された《手鑑『兎玉集』》を家蔵するような家庭環境の元で育つ。正岡子規に傾倒し、家業にいそむ傍ら歌作、句作を続け、子規の《子規居士臨模古絵題詠(「藤娘ほか」図)》を入手したことをきっかけに、作品の蒐集を始めた。本展示では当館のリニューアルオープンにあたり、コレクションを代表する子規の作品を一堂に会した。あわせて《手鑑『兎玉集』》をご覧いただく機会とした。

## 2「无声会の画家と橋口五葉」

●会期／2022年10月18日(火)～

2023年1月9日(月祝)

无声会は、1900年から1913年まで活動した日本画の小グループで、はじめ写実を重要視し、後期には装飾的な傾向を強めていった。コレクションには、中核メンバーである平福百穂のほか、石井柏亭らの作品が収められている。鹿児島市生まれの橋口五葉は、无声会で装飾的表現を試みた作品を発表した。喜作の旧蔵書の中には五葉が手がけた装幀本が多数あり、本展示では企画展「鹿児島市立美術館 名品展」に合わせ、无声会の画家たちの作品と共に、五葉の装幀本を紹介した。

## 3「茶の湯の世界」

●会期／2023年1月11日(水)～4月23日(日)

喜作は、雑誌『白樺』を通じ交流のあった柳宗悦との出会いから民藝運動に積極的に参加するようになり、1946年に設立された日本民藝協会長野県支部では初代支部長を務めた。濱田庄司、黒田辰秋の作品などを蒐集し、コレクションには23点の茶道具が収められている。喜作はもともと茶人であり、邸内に茶室を設け、来訪した文人や作家をもてなしていた。本展示では、それら茶道具を春の季節に合わせた掛軸と共に展示した。

## ■担当学芸員

稲村 純子、林 風美

## 〔趣旨・総括〕

「池上百竹亭コレクション」とは、松本市の文人・池上喜作／号・百竹亭(1890-1978)が生涯にわたって蒐集した近代文芸関係を中心とする221点の資料の総称である。喜作の没後、遺族によって松本市に寄贈された。

池上喜作は、市内有数の富裕な商家、重要美術品指定の古筆手鑑『兎玉集』や、法隆寺百万塔などを保有するような文化を尊ぶ気風のある家、環境に生まれ育った。弟には、東京大学教授で「池上哲学」を構築したといわれる池上鎌三(1900-56)と、東京大学を卒業し、国会議員等の公職を歴任した池上隆祐(1906-86)がいる。

早いうちから俳句短歌を知り正岡子規の俳句・短歌革新運動に心惹かれる。当時の松本は子規庵句会で活躍した矢ヶ崎奇峰、同じく子規の門下である上原三川らが『はゞき木』を刊行し、長野県における俳句革新の拠点となっていた時代であった。家業を継いだ喜作であるが、子規文学への深い関心は断ちがたく、俳壇への投稿などは続けていた。そして子規の模写した「藤娘」の絵と題詠を入手したことをきっかけに本格的な文芸資料の蒐集が始まり、子規文学と交渉をもつ美術家との文通交際を深めていくにつれ、筆跡作品及び美術工芸品等が集まってコレクションが形成されていった。また民藝運動との出会いにより、さらに蒐集の範囲も広がることとなった。

美術館が収蔵している池上百竹亭コレクションは、「文芸資料」「絵画」「工芸」とに分類できる。中核をなすものは、喜作が少年期よりあこがれを抱いていた正岡子規とその門人に関連する俳句・短歌の資料である。短冊や色紙、扇面などを掛軸あるいは屏風に、また、絵を織りまぜて美しい画帖に仕立てている。子規の他、高濱虚子・河東碧梧桐・内藤鳴雪・岡麓・香取秀真・伊藤左千夫・斎藤茂吉・島木赤彦・土屋文明ら、地元では、矢ヶ崎奇峰・上原三川・胡桃沢勘内らの作品資料である。

「絵画」では、喜作の絵の蒐集のきっかけとなった平福百穂をはじめ、下村為山・中村不折・小川芋銭・香取秀真・武井真激・森田恒友・小川千養・石井柏亭・武者小路実篤・太田南海・橋浦泰雄・棟方志功・バーナードリーチらの作品が収められている。

「工芸」では、邸内に茶室を設け、そこで客をもてなす時に用いた茶道具などや、民藝運動に関わる作家の作品などがある。

これらはいわゆる「素封家の金に飽かせた蒐集」ではなく、大正～昭和期、喜作が交友していた多くの文人との、温もりを感じさせるような作品資料である。それぞれには独特の拵えや仕立てが施されており、また喜作の編集によって再生産されたような作品もあり、思い入れの深さがうかがわれる。

池上百竹亭コレクション展示室において、コレクションの中から10点余りをセレクトし、年に数回展示替えを行いながら公開している。



[ 出品リスト ]

No.	作家名	作品名	技法・材質	寸法 (cm)	展示
1	正岡子規	子規居士臨模古絵題詠 (「藤娘」図)	紙本着色	42.7 × 29.2	1
2	正岡子規 中村不折	俳句分類原稿 子規像	紙本墨書 紙本墨画	各 24.0 × 26.6	1
3	正岡子規	「菜の花」図	紙本着色	45.3 × 28.7	1
4	正岡子規 下村為山	菜の花十句原稿 添画	紙本墨書 紙本墨画	81.8 × 26.3、23.2 × 23.7 (原稿部分)	1
5	正岡子規	「心清し〜」句扇面	紙本墨書	20.2 × 47.0	1
6	下村為山 高濱虚子	子規居士像 「子規逝くや〜」	紙本着色 紙本墨書	117.8 × 35.5	1
7-9	聖武天皇、他	手鑑『兎玉集』	紙本墨書	39.5 × 29.4	1
10	平福百穂	七面鳥	絹本墨画・着色	121.0 × 41.5	2
11	森田恒友	江村迎客	紙本墨画・着色	37.7 × 47.5	2
12	石井柏亭	万両	紙本着色	53.0 × 30.3	2
13	小川千蕪	女猿引の図	絹本着色	109.5 × 42.8	2
14	橋口五葉による装幀書籍	『虞美人草』 (夏目漱石著、1911年)			2
15	橋口五葉による装幀書籍	『草合』 (夏目漱石著、1908年)			2
16	橋口五葉による装幀書籍	『三四郎』 (夏目漱石著、1910年)			2
17	橋口五葉による装幀書籍	『それから』 (夏目漱石著、1910年)			2
18	橋口五葉による装幀書籍	『四篇』 (夏目漱石著、1910年)			2
19	橋口五葉による装幀書籍	『門』 (夏目漱石著、1911年)			2
20	橋口五葉による装幀書籍	『鶉籠』 (夏目漱石著、1908年)			2
21	橋口五葉による装幀書籍	『自叙伝』 (森田草平著、1911年)			2
22	橋口五葉による装幀書籍	『国貞描く』 (泉鏡花著、1912年)			2
23	橋口五葉による装幀書籍	『返らぬ日』 (鈴木三重吉著、1912年)			2
24	橋口五葉による装幀書籍	装幀『青年』 (森鷗外著、1913年)			2
25	橋口五葉による装幀書籍	装幀『すみだ川』 (永井荷風著、1911年)			2
26	平福百穂	梅の画	紙本墨画・着色	21.0 × 18.1	3
27	長塚節 平福百穂	「あらかじめ〜」歌 添画	紙本墨書 紙本着色	37.8 × 51.5	3
28	香取秀真	釜 竹林群雀文	鑄造・鉄	21.2 × 長径 17.6	3
29	香取秀真	鉄瓶 緋口八角形	鑄造・鉄	13.5 × 長径 17.3	3
30	濱田庄司	茶碗 塩釉白流	陶器	8.3 × 口径 13.2	3
31	濱田庄司	茶碗 銘・東山	陶器	7.3 × 口径 12.5	3
32	濱田庄司	茶碗 地釉	陶器	9.1 × 口径 13.3	3
33	濱田庄司	急須 鉄絵	陶器	9.7 × 口径 7.0 × 底径 7.0 × 直径 10.0 × 長径 14.4	3
34	黒田辰秋	金鎌倉 捻梅香合	漆	2.7 × 径 5.0	3
35	黒田辰秋	蝟色小棗	漆	6.9 × 径 6.5	3
36	千宗室	黒大棗 菊桐蒔絵	漆、蒔絵	7.5 × 径 7.4	3
37	千宗室	茶杓 不老門	竹	18.2 × 1.1	3

※展示 1…2022.4.21 ~ 7.10  
 展示 2…2022.10.18 ~ 2023.1.9  
 展示 3…2023.1.11 ~ 4.23

## コレクション特設展示

■会期

2022年4月21日(木)～(通年)

■会場

オープンギャラリー

■担当学芸員

稲村 純子

〔趣旨・総括〕

大規模改修に伴い、3階の美術情報図書室周辺の区画が見直され、図書室スペースが縮小されてアトライブラリーに。そこに生まれたスペースにオープンギャラリーが新設された。広々とした空間には、彫刻家の細川宗英と飯沼英樹の作品を展示した。

細川宗英(1930-94)は、長野県松本市に生まれ、諏訪市で育った。東京藝術大学美術学部彫刻科専攻科在学中から新制作協会展に出品し、その才能は早くから注目される。1950年代から60年代初頭、日本へ流入する欧米現代美術の影響を受けつつも、やがて日本的なものへ帰するイメージから生まれた「装飾古墳シリーズ」を制作し、第8回高村光太郎賞を受賞。1968年、文化庁芸術家在外研修員として海外派遣となった際にメキシコのマヤ文明に触れ、自らが目指す彫刻の本質を確信する。帰国後、人間の内面を赤裸々にえぐり出す「男と女」「王と王妃」のシリーズ、鎌倉室町の頂相彫刻から想を得た「道元」、平安末期から鎌倉初期の絵巻『地獄草紙』『餓鬼草紙』による物語絵画を彫刻化したシリーズなどを発表。風化しゆく人やモノの姿をとおし、時間や歴史を超越して存在するもの、内に向かって削ぎ落としていくような造形を探求し、63歳で他界した。生きた証を残しおこうとする人間の執念、永遠なるものへの祈り…。細川が彫刻に込めたむき出しの美は、生あるものが消滅しゆく運命との“たたかい”でもあった。

飯沼英樹(1975-)は、松本市生まれ。東京、名古屋で彫刻を学び、2002年、フランスに留学し、その後、ドイツ、イタリア、スイスなどで個展を開催。日本よりも先にヨーロッパでその実力が認められた。松本市美術館では2016年に「飯沼英樹 闘ウ女神たち」と題した企画展を開催している。飯沼が刻むのは、煌びやかな衣装を身に纏い、最先端のメイクで武装したモデルなど、現在を生きる女性の姿。飯沼はファッション誌の一枚の写真からインスピレーションを得て、被写体の内面まで彫りあげている。他者の視線を強く意識し、なお自らを奮い立たせる女性。垣間見えるのは強かさ葛藤、さらに先にある気高さで、飯沼が表現しようとしているのは、その刹那の神性であろうか。

オープンギャラリーはフリースペースであるため、多くの来館者に気軽に両彫刻家の代表作をご覧いただくことができた。



[ 出品リスト ]

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
1	細川宗英	王妃像 No.1	1984	ブロンズ・着色	210.0 × 65.0 × 50.0	
2	細川宗英	道元	1972	ブロンズ、義眼	180.0 × 55.0 × 55.0	
3	細川宗英	男と女の顔	1974	ブロンズ	53.0 × 46.0 × 29.0	
4	細川宗英	灰痕の男	1976	ポリエステル・着色	125.0 × 50.0 × 40.0	
5	細川宗英	腰かける男のトルソ	1971	ブロンズ	63.0 × 30.0 × 32.0	
6	飯沼英樹	Flamboyance Vanity	2011	木 (ヒノキ) ・着色	130.0 × 180.0 × 70.0	寄託作品



# 収蔵作品一覧

松本市美術館収蔵美術作品一覧表

区分	日本画	日本画以外の 絵画	版画	彫刻・立体	工芸	書	草間彌生 作品	上條信山 作品	田村一男 作品	池上百竹亭 コレクション	合計
松本市立博物館 からの移管作品	215	272	1	7	4	3	1				503
2001 (平成13)年度 以前	22	47	1	7	1		285	316	217	221	1,117
2002 (平成14)年度	9	52	23	1			18				103
2003 (平成15)年度		23					24	1	178		226
2004 (平成16)年度	1	40		5		5					51
2005 (平成17)年度	3	24	1	1	1		6				36
2006 (平成18)年度	8	3									11
2007 (平成19)年度	3	13						7			23
2008 (平成20)年度		9		2				47			58
2009 (平成21)年度	10	31	2	2			1				46
2010 (平成22)年度	2	15	1								18
2011 (平成23)年度	1	33	1	3	2	1	9	1			51
2012 (平成24)年度	3	19				1	4	2			29
2013 (平成25)年度	2	11	2								15
2014 (平成26)年度	2	45	3		1	33		2			86
2015 (平成27)年度		5				2	9				16
2016 (平成28)年度	1			4				1			6
2017 (平成29)年度	2	2				73		9			86
2018 (平成30)年度							52				52
2019 (令和元)年度	3	4				3					10
2020 (令和2)年度	3	1			5						9
2021 (令和3)年度											0
2022 (令和4)年度	1	5		6		2					14
合計	291	654	35	38	14	123	409	386	395	221	2,566

※この他に、石井鶴三資料(20,612点)がある。

凡例

- 2023年3月31日現在。
- 区分は、日本画、日本画以外の絵画、版画、彫刻・立体、工芸、書の6部門とし、草間彌生・上條信山・田村一男作品・池上百竹亭コレクションは別掲した。
- 日本画以外の絵画の区分には、油彩、水彩、デッサン、ミクストメディア等を含む。
- 松本市立博物館からの移管作品数には、二次資料29点を含めない。(総移管数は532点)
- 上條信山作品については、宮島詠士、張廉卿の作品を含む。

## 新収蔵作品

当館では、「①郷土出身の作家、松本にゆかりのある作家及び関連する美術資料等」「②松本を中心とした信州の自然、風土、歴史に関わる美術資料等」「③山岳等をテーマとした国内外の美術資料等」「④音楽にちなんだ美術資料等」「⑤その他、教育委員会が必要と認めた美術資料等」の5項目に該当する美術資料の計画的・継続的な収集に努めている。

収集にあたり、松本市美術館美術資料等選定委員会の審議を経て、購入及び寄贈、寄託による受け入れを行っている。2022（令和4）年度は購入作品3点、寄贈作品11点が新たに収蔵品として加わった。

### [ 2022（令和4）年度収蔵作品一覧 ]

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
1	飯沼英樹	Satine	2008	彩色・木(クスノキ)	79.0 × 25.0 × 28.0	購入
2	飯沼英樹	Tova	2008	彩色・木(クスノキ)	83.0 × 19.0 × 17.0	購入
3	大曾根俊輔	マナティー ボク	2014	脱活乾漆/漆、色漆、麻布、松、楠、ガラス、磁石	53.0 × 46.0 × 230.0	購入
4	大曾根俊輔	カバつぐみ	2010	脱活乾漆/漆、麻布、瑪瑙	31.0 × 48.0 × 113.0	寄贈
5	大曾根俊輔	コウテイペンギン	2018	脱活乾漆/漆、色漆、麻布、朴	107.5 × 47.0 × 57.0	寄贈
6	秋山白巖	天気清和	1906	紙本墨書	34.5 × 122.0	寄贈
7	秋山白巖	藤田東湖詩「正氣歌」	1934	紙本墨書	129.0 × 41.0	寄贈
8	太田南海	香取秀真先生像	1953	陶彫	27.5 × 21.5 × 13.0	寄贈
9	滝川太郎	マルセイユ	1931	油彩・キャンバス	103.0 × 129.0	寄贈
10	滝川太郎	炭屋	不詳	油彩・板	41.0 × 55.0	寄贈
11	滝川太郎	トレド	不詳	油彩・キャンバス	66.0 × 76.0	寄贈
12	野見山暁治	帰ってくる日	1990	油彩・キャンバス	116.8 × 116.8	寄贈
13	野見山暁治	そら	2008	油彩・キャンバス	91.0 × 72.8	寄贈
14	野本文雄	安曇野風景	不詳	絹本着色	66.0 × 70.1	寄贈



1 飯沼英樹 Satine



2 飯沼英樹 Tova



3 大曾根俊輔 マナティー ボク

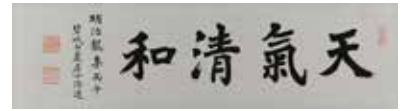




4 大曽根俊輔 カバつぐみ



5 大曽根俊輔 コウテイペンギン



6 秋山白巖 天氣清和



7 秋山白巖 藤田東湖詩「正氣歌」



8 太田南海 香取秀真先生像



9 滝川太郎 マルセイユ



10 滝川太郎 炭屋



11 滝川太郎 トレド



12 野見山暁治 帰ってくる日



13 野見山暁治 そら



14 野本文雄 安曇野風景

# 資料の保存・修復

## 1 保存環境の整備

カビや虫の被害を防止するために、収蔵庫内の掃除や搬入される作品の簡易なクリーニング、虫や埃を外部から収蔵庫・一時保管庫内に入れないための対策を引き続き行った。

## 2 館内環境調査

館内各所に捕虫用トラップを約180カ所に仕掛け、初夏と秋の2回2週間ずつ観察した。浮遊塵埃・浮遊菌の調査も秋に行った。昆虫類の侵入が想定される出入口等には、引き続き侵入阻止対策を行った。

## 3 修復・額装など

展示・保管のため、下記の作品の修復を行った。

修復(2点)

No.	作家名	作品名	技法等	概要
1	石井鼎湖	蟬図	絹本着色	解装、洗浄、新規裏打ち、裂地締直し
2	香取秀真・太田南海	生妻の家	紙本墨画	解装、洗浄、新規裏打ち。裂地新調、保存箱制作

# 貸出作品

美術館等からの作品の貸出依頼については、展覧会の内容、作品の状態、当館の展示計画等を考慮して応じている。2022年度は下記のとおり行った。  
※2021年度から継続の件は、2021年度年報に掲載済みにつき省略。

貸出先総数 3件9箇所

貸出作品総数 4点

## 1 展覧会：「野田弘志 真理のリアリズム」

会場／会期：①山口県立美術館／2022年4月27日（水）～6月19日（日）  
②姫路市立美術館／2022年7月2日（土）～9月4日（日）  
③奈良県立美術館／2022年9月17日（土）～11月6日（日）  
④札幌芸術の森美術館／2022年11月19日（土）～2023年1月15日（日）

貸出先：山口県立美術館、姫路市立美術館、奈良県立美術館、札幌芸術の森美術館、朝日新聞社企画事業本部

貸出作品：1点

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	野田弘志	朝の美ヶ原	2005	油彩・キャンバス	130.0×162.0

## 2 展覧会：「Re:Yayoi Kusama:1945 to Now」

会場／会期：①M+／2022年9月10日（土）～2023年3月12日（日）  
②Guggenheim Museum Bilbao／2023年6月27日（火）～10月8日（日）  
③Serralves Museum／2024年5月23日（木）～10月13日（日）

貸出先：M+

貸出作品：①②は2点、③は1点（No.2のみ）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	草間彌生	原爆	1954	グワッシュ、インク、パステル・紙	25.0×17.6
2	草間彌生	星屑の集積	2001	アクリル・キャンバス	194.0×390.9

## 3 展覧会：「合田佐和子展 帰る途もつもりもない」

会場／会期：①高知県立美術館／2022年11月3日（木祝）～2023年1月15日（日）  
②三鷹市美術ギャラリー／2023年1月28日（土）～3月26日（日）

貸出先：高知県立美術館、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

貸出作品：1点

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	合田佐和子	森の王	1978	油彩・キャンバス	162.1×130.3





「みんなのムービー」



「インスタント建築」



「夜の探検!びじゅつかん!」



「版画室プレス機使用講習会」



アートレクチャー

※企画展覧会の関連事業は、展覧会概要の「関連行事」を参照。

## 1 子どもや親子のための講座等

### 「みんなのムービー」

理論と実践から映像文化に対する興味を育てる講座。活動写真弁士の片岡一郎氏と楽師の宮澤ますみ氏の実演により無声映画を鑑賞後、映画『日本一桃太郎』に音やナレーションをつけるワークショップを行った。

日時：6月18日(土)午後1時30分～4時

運営：NPO法人コミュニティシネマ松本CINEMAセレクト

会場：ワークショップ/講座室・市民アトリエ、上映会/多目的ホール

対象：小学生～高校生

料金：500円

参加者数：11人

### 「インスタント建築」

身近な素材で構築した空間の中に入ること、新しい体験や感性を拓ける講座。美術館の柱から柱にカラフルなビニールテープを結んで中庭に壁をつくった。

日時：7月17日(日)午後1時～4時

講師：松本安曇野住宅建築展実行委員会

補助：博物館実習生

会場：市民創造ひろば

対象：小学生～一般

料金：無料

参加者数：22人

### はじめてのびじゅつかんさんば「夜の探検!びじゅつかん!」

子育て支援の一環として、初めての美術館体験を提供するための事業。オープンスペースの展示作品を中心に、美術館を親子で気軽に楽しむプログラムを開催した。

日時：9月2日・16日、10月14日・21日いずれも(金)午後6時30分～7時20分

案内：大西哲理、林風美(松本市美術館学芸員)

会場：オープンスペース、バックヤード、市民アトリエ

対象：3～5歳の子どもとその保護者

料金：無料

参加者数：計40人

## 2 大人のための講座等

### 「版画室プレス機使用講習会」

プレス機の適切な使用方法についての講習と清掃・メンテナンスを実施した。午後は、参加者を対象に版画室の無料開放を行い、講師が常駐する中で自由に版画室を利用してもらった。

日時：6月26日(日)午前11時～12時

講師：久保田一夫、有賀正吉

会場：版画室

対象：版画室使用の個人または団体代表

料金：無料

参加者数：5人

## 3 アートレクチャー

### 館長講座

#### 「よみなおし日本美術史」

①様々な絵画流派-アカデミズムと逸脱

②江戸前期の工芸と茶の湯-「きれいさび」の時代

日時：2023年1月21日(土)・28日(土) 2回連続講座

各日午後1時30分～3時

講師：小川稔(松本市美術館館長)

会場：講座室・市民アトリエ

対象：一般

料金：無料

参加者数：のべ77人(①38人、②39人)



「博物館実習」



高校生講座「自然物をデザインする」

#### 学芸講座

##### 「美術館には何があるの」

日時：6月25日(土)午後2時～3時30分

講師：大西哲理(松本市美術館学芸員)

会場：岡田公民館 大会議室

対象：一般

料金：無料

参加者数：10人

##### 「草間彌生 少女が水玉の女王になるまで」

日時：6月28日(火)午後2時～3時30分

講師：澁田見彰(松本市美術館学芸員)

会場：鎌田地区公民館 大会議室

対象：一般

料金：無料

参加者数：32人

## 4 学校との連携等

教育普及の一環として学校を対象とした取り組みについて、2022年度は下記のとおり実施した。

#### アートおとどけ講座

美術館職員が館外に出張し、講義やワークショップ等を行った。

3件209人

#### 実習・職場体験等

##### 「博物館実習」

日時：7月15日(金)～20日(水)

対象：学芸員資格取得希望の大学生

参加者数：3人

内容：学芸業務、展示作業補助、教育普及事業補助・運営、ほか

##### 「修業体験学習」

件数：1校

人数：20人

日数：1日

対象：高校1年生

##### 「職場体験学習」(1校は出前形式)

件数：7校

人数：37人

日数：1日または2日

対象：中学校2年生

##### 「異業種体験研修」

件数：1校

人数：1人

日数：2日

対象：中学校教諭

#### 高校生講座「自然物をデザインする」

高校生とアーティストとの出会いの場をつくり、新しい価値観を発見することを目的とした講座で、松本学生美術会と連携して開催。

日時：11月3日(木祝)午後1時30分～4時00分

講師：吉本天地(amachi.デザイナー)

会場：講座室・市民アトリエ

対象：松本学生美術会

料金：無料

参加者数：10人

内容：ファッションデザイナーの天地氏を講師にお迎えした。前半は実際のコレクションや映像作品を紹介しつつ、デザイナーという職業に就いたきっかけや学生時代の経験などをお話いただいた。また後半は石とフェルトを用い、講師の手法を体験するワークショップを実施。参加した学生同士が交流する場ともなった。



「旅行社みずのさんぽ&amp;井戸端プリント」

「建築家と巡る城下町みずのタイムトラベル  
近代編」「建築家と巡る城下町みずのタイムトラベル  
水と城下町編」

「はぐくむ工芸 子ども椅子展」

## 5 「工芸の五月」美術館ステージ

“くらしの美”を多方面から提案する「工芸の五月」。全国的にも知られている「クラフトフェアまつもと」をメインイベントに、工芸月間として市内随所で松本の魅力を発信しようとする取り組み。

### みずみずしい日常2022

#### 「旅行社みずのさんぽ&井戸端プリント」

松本の湧水に着目した町歩きを紹介やツアー企画情報の拠点として機能するほか、印刷表現を体験できるワークショップスペース「井戸端プリント」を併設。

会期：4月29日（金祝）～5月29日（日）のうち土・日曜日・祝日 午前9時～午後5時

運営：松本クラフト推進協会

会場：こども創作館

入場者数：888人

### 企画ツアー

#### 「建築家と巡る城下町みずのタイムトラベル 近代編」

日時：4月30日（土）午後1時30分～4時

会場：美術館周辺

対象：一般

料金：無料

参加者数：15人

#### 「建築家と巡る城下町みずのタイムトラベル 水と城下町編」

日時：5月7日・14日・21日・28日いずれも（土）各日午後1時30分～4時

会場：美術館周辺

対象：一般

料金：無料

参加者数：計51人

### 展示、ワークショップ

#### 「はぐくむ工芸 子ども椅子展」

地元木作家が制作した子ども椅子を展示。来場者には自由に触れてもらいながら、手作りのぬくもりを感じてもらえる機会を提供した。

会期：4月29日（金祝）～5月6日（金）午前10時～午後5時

会場：市民創造ひろば

運営：松本クラフト推進協会

料金：無料

入場者数：1,783人

#### 「おにぎりに化けたキツネとタヌキの椅子を作ろう」

子ども椅子展に合わせたワークショップ。プロの指導により、木のしっぽがかわいく持ち運びも便利な椅子を作った。

日時：5月5日（木祝）・6日（金）各日午後1時～4時

会場：市民アトリエ

対象：中学生以上

料金：10,000円

参加者数：8人

## 6 その他の連携事業・イベント

### 「美術館のキャンドル・ナイト」

美術館中庭・水辺等にキャンドルを灯し、スローな時間をたのしむ楽しむアートイベント。

宮澤信氏（気象予報士）によるエコライフトーク、松本シビックオーケストラによるコンサート、ライトダウンを実施。

日時：6月10日（金）午後6時～8時30分

会場：市民創造ひろば、講座室・市民アトリエ

主催：松本市美術館、エコネットまつもと

参加者数：約200人

### 「美術館で夕涼み」

街の音楽家によるコンサートとフラダンスの催しに加え、うちわ・七夕人形作り体験コーナーや野菜市、風船つり等の屋台村出店などを実施。

日時：6月19日（日）午後3時30分～6時30分

会場：市民創造ひろば、講座室・市民アトリエほか

主催：松本市美術館、美術館友の会

共催：東源池町会、こだまの会

参加者数：約300人

# アートライブラリー

松本市美術館の基本方針にある「美術館がめざす四つの柱」の一つである「学習の場」として、美術に関する書籍等を取り揃え、利用者のニーズに応えられるよう、毎年収集に力を入れている。一般書籍に加え、松本市美術館で開催する展覧会に関するもの、収蔵作品に関するもの、美術関係雑誌などを購入。雑誌は、例年に引き続き複数誌を年間通して配架し、日々の文化・芸術関連の情報収集に努めた。さらに、他館との書籍資料の相互交換や個人等からの寄贈も多く、収蔵図書の実に繋がっている。

大規模改修事業に伴い改装し、ソファなどを設置。親子で楽しめるスペースを設けた。より親しみやすく、気軽にアートが楽しめる場所となるような書籍を配架し、名称も「美術情報図書室」から「アートライブラリー」へと変更した。各企画展に合わせた特別コーナーを設置、草間彌生関連書籍コーナーの設置などを試み、利用者に対する利便性を考えた図書室運営を目指している。

## 2022（令和4）年度の受入状況

定期刊行物 新聞 3紙  
雑誌 26タイトル 255冊  
交換・寄贈図書 578冊  
購入図書 63冊

## 収蔵状況

収蔵ビデオ本数 509本  
収蔵図書冊数 30,775冊  
上記の他に、下記の蔵書がある  
池上百竹亭旧蔵書籍 4,218冊  
田村一男旧蔵書籍 1,281冊  
米倉守旧蔵書籍 1,252冊  
松本市図書館リサイクル書籍 1,892冊

※ 2023.3.31 現在

## 2022（令和4）年度 入室者数

	利用者(人)	レファレンス(人)
2022年4月※	594	7
5月	1,611	16
6月	1,059	8
7月	1,187	8
8月	2,090	6
9月	1,229	7
10月	933	7
11月	1,059	21
12月	608	9
2023年1月	590	11
2月	681	8
3月	964	5
合計	12,605	113

※4月21日のリニューアルオープンから





# 友の会

友の会は、松本市美術館の管理運営について、広く市民から意見を求めるため設置した「松本市美術館開設市民研究会」が母体となり、発足した。

設立／2002(平成14)年6月9日(日)

目的／美術館活動への支援・協力

友の会活動を通じて会員の教養を高め、親睦と交流を深める  
 会員数／236名、法人18口

## 2022(令和4)年度 主な活動

2022年

4月24日(日) 総会 事業・会計報告、事業計画・予算

5月18日(水)～22日(日)

美術館リニューアルオープン記念 友の会会員作品展

5月21日(土) ワークショップ 人物デッサン会①

5月31日(火) 会報「パレット」46号発行

6月5日(日) ワークショップ 絵はがき講座①

6月19日(土) 美術館で夕涼み

7月16日(土) ワークショップ 人物デッサン会②

9月10日(土) ワークショップ 裸婦デッサン会①

9月11日(日) ワークショップ 裸婦デッサン会②

9月23日(金) 秋の研修旅行

10月23日(日) ワークショップ 絵はがき講座②

10月29日(土) ワークショップ 人物デッサン会③

11月4日(金) 会報「パレット」47号発行

11月12日(土) ワークショップ 年賀状をつくろう

12月3日(土) ワークショップ 人物デッサン会④

12月11日(日) クリスマスワークショップ モザイクタイルアート  
 会員交流会

2023年

1月18日(水)～29日(日)

友の会会員作品展

同時開催 ワークショップ受講者作品展

## 2022(令和4)年度 松本市美術館友の会 役員名簿

職名	氏名
顧問	小川 稔
	北村 明也
	中村 石浄
会長	岩垂 正美
副会長	山越 久美子
	結城 賢二郎
事務局長	田中 伸季
会計	渡辺 薫
監事	祖父江 律子
	山田 和夫
理事	大澤 逸山
	岡野 久
	小原 美苗
	金岩 博司
	草間 理
	小松 宏江
	坂本 紀子
	白木 總一
	鈴木 清登
	高橋 昭一
	鳥居 清美
	西條 毅昌
	原 元勝
	丸山 勝子
	御子柴 英遠
	水上 智子
	百瀬 武
森川 静江	
両角 十志男	
吉田 満	
吉村 幸代	



〔図録〕



『鹿児島市立美術館名品展』  
※詳細は展覧会概要の「図録」を参照



『70歳以上の公募による美術展 第9回 老いるほど若くなる』  
※詳細は展覧会概要の「図録」を参照

〔美術館ニュース〕



「松本市美術館ニュース あーとふる Vol.69」  
発行日／2022年4月  
A4判、4ページ、5,000部  
アートエキシビション・ガイド「よみがえる正倉院宝物-再現模造にみる天平の技」／大島武  
視る「草間彌生《幻の華》」／澁田見彰  
ワークショップ「よみがえる正倉院宝物」関連プログラム  
リニューアルオープン  
その他「70歳以上の公募による美術展 第9回老いるほど若くなる」絵画作品募集  
その他「人物往来」  
ポルカドット号探検記 第34回「夢の国の宝物」／小川稔  
リレーエッセイ41「池上百竹亭」／稲村純子



「松本市美術館ニュース あーとふる Vol.70」  
発行日／2022年7月  
A4判、4ページ、5,000部  
アートエキシビション・ガイド「草間彌生 版画の世界」／澁田見彰  
ワークショップレポート「アートに挑戦！ようこそ漆芸の世界へ」  
身近なアート「鉄瓶」／林風美  
視る「藤松博《無題》」／大西哲理  
リニューアルオープン  
ポルカドット号探検記 第35回「魔法のペン」／小川稔  
リレーエッセイ42「伝えることとは」／村上萌



「松本市美術館ニュース あーとふる Vol.71」  
発行日／2022年10月  
A4判、4ページ、5,000部  
アートエキシビション・ガイド「鹿児島市立美術館 名品展」／稲村純子  
視る「徐三庚《天笈神識碑臨書》」／大島武  
ワークショップレポート 特別展「草間彌生 版画の世界」関連ワークショップ  
クローズアップ「クロード・モネ《睡蓮》」／鹿児島市立美術館学芸員 田村桂子  
身近なアート「花柄の珐瑯鍋」／村上萌  
ポルカドット号探検記 第36回「洋画事始め」／小川稔  
リレーエッセイ43「六九工藝祭」／大西哲理



「松本市美術館ニュース あーとふる Vol.72」  
発行日／2023年2月  
A4判、4ページ、4,000部  
アートエキシビション・ガイド「70歳以上の公募による美術展 第9回 老いるほど若くなる」／大西哲理  
ワークショップレポート 高校生講座「自然物をデザインする」  
身近なアート「薪ストーブ」／澁田見彰  
視る「関四郎五郎《春雪》」／林風美  
ミュージアムショップ「ミュージアムショップでお買い物」  
ポルカドット号探検記 第37回「百歳の芸術家」／小川稔  
リレーエッセイ44「映画監督・山崎貴の世界」／武藤美紀

[ 展覧会、館内案内 ]



「展覧会年間スケジュール2022.4－2023.3」  
A4判三つ折、40,000部発行

[ ポスター ]



「よみがえる正倉院宝物—再現模型にみる天平の技—」  
B2判、1,800部発行



「70歳以上の公募による美術展 第9回 老いるほど若くなる 作品募集」  
B2判、1,750部発行



「館内案内」  
A4判三つ折、10,000部発行



「草間彌生版画の世界」  
B2判、1,800部発行



「70歳以上の公募による美術展 第9回 老いるほど若くなる」  
B2判、1,500部発行



「コレクション展示 草間彌生 魂のおきどころ」  
A4判三つ折  
日本語版 60,000部発行  
英語版 20,000部発行  
簡体版 10,000部発行  
繁体版 10,000部発行



「鹿兒島市立美術館名品展」  
B2判、1,800部発行

[チラシ]

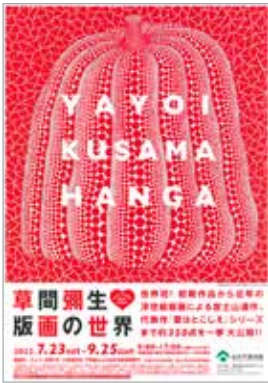


「よみがえる正倉院宝物—再現模型にみる天平の技—」  
A4判(両面カラー)、40,000部発行



(表紙)

「70歳以上の公募による美術展 第9回 老いるほど若くなる 作品募集」  
A4判(A3サイズ二つ折り、両面カラー)、53,000部



「草間彌生版画の世界」  
A4判(両面カラー)、40,000部発行



「70歳以上の公募による美術展 第9回 老いるほど若くなる」  
A4判(両面カラー)、30,000部発行



「鹿児島市立美術館名品展」  
A4判(両面カラー)、40,000部発行





# 施設の利用

## 展示使用（市民ギャラリー、多目的ホール等）

No.	展覧会名	会期	日数	入場者数（人）
1	第29回つくし会書展	2022年4月22日（金）～ 4月24日（日）	3	360
2	第34回二科長野支部展	4月26日（火）～ 5月1日（日）	6	754
3	NHK文化センター松本教室 写真講座写真展	5月3日（火）～ 5月8日（日）	6	1,116
4	「松本の藍染と紬織り」 ～浜完治と武井豊子の仕事展～	5月11日（水）～ 5月15日（日）	5	1,787
5	松本市美術館リニューアルオープン記念 友の会 会員作品展	5月18日（水）～ 5月22日（日）	5	936
6	NHK文化センター 松本・iCITY 教室 写真講座写真展	5月24日（火）～ 5月29日（日）	6	874
7	京都芸術大学 甲信越会作品展	6月1日（水）～ 6月5日（日）	5	772
8	松本創作人形の会 会員展 百瀬玲子先生と共に	6月8日（水）～ 6月12日（日）	5	820
9	第25回中信地区高等学校写真展	6月10日（金）～ 6月12日（日）	3	746
10	京織の世界へ	6月10日（金）～ 6月12日（日）	3	225
11	第55回一陽会長野展	6月15日（水）～ 6月29日（水）	5	579
12	第74回中信美術展	7月2日（土）～ 7月10日（日）	8	3,000
13	松本市芸術文化祭参加 松本詩人会 平和を祈る詩の展示会・朗読会	7月18日（月）～ 7月24日（日）	6	1,334
14	松本安曇野住宅建築展	7月15日（金）～ 7月18日（月）	4	876
15	第12回長野一水会展	7月27日（水）～ 7月31日（日）	5	1,041
16	第15回地域現代作家代表作展 紙面で振り返る OMF30 周年展示会	8月2日（火）～ 8月14日（日）	13	3,615
17	第15回長野二紀展	8月21日（日）～ 8月27日（土）	7	240
18	信州現展	8月29日（月）～ 9月4日（日）	7	1,274
19	2022 ニッコールクラブ松本支部・松本ハッセルブラッドフォトクラブ合同写真展	9月7日（水）～ 9月11日（日）	5	1,297
20	47回創元会 長野県支部展	9月7日（水）～ 9月11日（日）	5	893
21	第38回蒼騎会 長野県支部展	9月13日（火）～ 9月19日（月）	7	1,312
22	第26回松本フォトアカデミー写真展 「麗しの大地 2022 一信州心の故郷」	9月21日（水）～ 9月25日（日）	5	540
23	第63回松本市芸術文化祭参加 長野県中信地区高等学校書道展	9月21日（水）～ 9月25日（日）	5	881
24	第63回松本市芸術文化祭参加 松本地区書道展	9月30日（金）～ 10月2日（日）	3	468
25	第63回松本市芸術文化祭参加 松本学生美術展	10月8日（土）～ 10月10日（月）	3	580
26	第63回松本市芸術文化祭参加 松本学生美術展	10月21日（金）～ 10月23日（日）	3	973
27	第22回長野藍荷会書作展	10月28日（金）～ 10月30日（日）	3	503
28	第14回ART マーブル展	10月27日（木）～ 10月30日（日）	4	267
29	第63回松本市芸術文化祭参加 市民美術工芸展	11月3日（木）～ 11月6日（日）	4	697
30	松本産切り花の展示	11月9日（水）～ 11月13日（日）	5	406
31	信州書象展	11月12日（土）～ 11月13日（日）	2	348
32	第63回松本市芸術文化祭参加 市民合同展	11月16日（水）～ 11月20日（日）	5	2,050
33	松本フォトサークル 四季の彩り	11月22日（火）～ 11月27日（日）	6	441
34	古人今人の書と美 信州ゆかりの作家を中心として	11月23日（水）～ 11月27日（日）	5	519
35	信州が生み、励んだ 三人の画家展	11月23日（水）～ 11月27日（日）	5	519
36	22「山の便り」日本山岳写真協会松本支部展	11月22日（火）～ 12月4日（日）	12	2,578
37	布と糸あそび 作品展	11月30日（水）～ 12月4日（日）	5	1,404
38	第75回長野県書道展覧会 松本地区展	12月2日（金）～ 12月4日（日）	3	156
39	第75回長野県書道展覧会 松本地区展	12月9日（金）～ 12月11日（日）	3	2,722
40	蠟ヶ崎高校書道部 銀河書展	12月24日（土）～ 12月25日（日）	2	450
41	臨床美術 誰でもアート展	12月24日（土）～ 12月25日（日）	2	54
42	第15回信州国展	2023年1月5日（木）～ 1月9日（月）	5	1,947
43	松本第一高校美術工芸系統生徒作品展	1月12日（木）～ 1月15日（日）	4	616

42	第21回美術館友の会 会員作品展	1月18日(水)～ 1月29日(日)	5	2,795
43	氷彫フェスティバル	1月27日(金)～ 1月29日(日)	3	842
44	第24回テレビ松本 小・中学生 立体アート作品展	2月 1日(水)～ 2月 5日(日)	5	1,036
45	エクセラン高等学校美術科 第22期生卒業制作展×美術科展	2月 8日(水)～ 2月12日(日)	5	1,084
46	全日本写真連盟 松本フォトクラブ支部写真展 自然の煌き Part25	2月16日(木)～ 2月19日(日)	4	463
47	ひと、まち、建築 見つめようくらしの場 第17回建築祭	2月25日(土)～ 2月26日(日)	2	382
48	第13回櫻の森書道展	3月 3日(金)～ 3月 5日(日)	3	572
49	第24回中信心女流作家展	3月 8日(水)～ 3月19日(日)	11	2,416
50	第33回松本かな美の書展	3月24日(金)～ 3月26日(日)	3	591
51	第3回あーとりえ作品展 MyWorld	3月18日(土)～ 3月19日(日)	2	213
52	布で作る草盆栽展	3月22日(水)～ 3月26日(日)	5	556
53	お帰り天才山ちゃん展	3月28日(火)～ 4月 2日(日)	6	1,284
	合計			54,685





# ミュージアムショップ

美術館のリニューアルオープンに合わせ、セミセルフレジを導入し、レジ台の配置を変更。また展開する商品内容は多種多様な年齢、性別、国籍のお客さまに喜んで頂けるようにした。草間彌生関連商品は、書籍を含め僅かにスペースを拡張。松本中心に長野県に関わりながらものづくりをしている若手作家15人ほどの商品（木工、磁器、テキスタイル、ガラス、人形、アクセサリー、文房具など）を紹介。子供対象に、ものづくりのきっかけになるような、クレヨン、組み立てキットなど知育ホビエのコーナーを設置。書籍棚については、レジ台配置変更により以前よりもスペースが縮小したが、当館だけではなく国内外で開催されている展覧会、注目のアーティスト、美術を包括した現在の情勢や思想がわかるようなラインナップにした。加えて市内では珍しい美術洋書の取扱いを始めた。

「よみがえる正倉院宝物」では、正倉院関連商品のほかに独自に仕入れた奈良のほうじ茶ミルクも好評を得た。企画展の開催がない6月中旬から7月中旬は、日本のプロダクトデザイン集団「D-BROS」のフラワーベースや食器などを展開し、ミュージアムショップだけでも楽しんでもらえるように努めた。

「草間彌生 版画の世界」では、常時展開している草間彌生商品以外にバンダナ、ステッカー、缶バッジなどを増やした。公式図録がなかったため、「草間彌生全版画」（阿部出版発行）を図録の代用として販売。当館は草間彌生作品のコレクションが充実しているにも関わらず、限定商品は《水玉強迫》手ぬぐいとポストカードのみ。より一層お客さまに満足していただくために、今後、当館オリジナル商品の制作を進めていきたい。また、会期中が夏休みであったため、「夏休み」をテーマに絵本を含めた書籍をセレクト。その他、バッグ作家であるトモトカナコさんの夏らしい作品も紹介。企画展と並行してデザインの面白さなどを幅広い層に喜んでもらえた。

「鹿児島市立美術館 名品展」では鹿児島市立美術館のポストカード、クリアファイル、葉以外に、関連する海外のミュージアムグッズや書籍を揃えた。また展示作品をモチーフにしたグラスコードを独自に制作販売するなど、展示の感動を深めるような商品展開にした。併せて鹿児島市の紹介として、鹿児島市内にある「吉満菓子店」のぼうろやかりんとう、日本茶専門店「貴茶-TAKACHA」の無農薬のお茶を販売。特に鹿児島の偉人である西郷隆盛、名産の桜島大根や焼酎、白くま、方言などをおかしくデザインしたkagomania（カゴマニア）の商品は大変な人気を得た。

「第9回 老いるほど若くなる」では、面白いデザインのリーディンググラス、フランスの老舗画材店セヌリエの水彩絵の具やパステル、日本画の顔彩などの商品を揃えた。同時期にコレクション展示室にて展示中の柚木沙弥郎作品に合わせて、IDÉE TOKYO（イデートーキョー）限定のYUNOKI手ぬぐい、靴下、トートバッグなどを販売した。

今後は引き続き、展覧会鑑賞後に柔らかくなった心に響くような商品を偏りなく紹介していくことと、松本市美術館でしか手に入れることができないオリジナル商品の開発に努めたい。

## 2022（令和4）年度 利用客数

利用客数（人）	
2022年4月	1,817
5月	5,701
6月	3,661
7月	3,378
8月	7,608
9月	5,145
10月	3,926
11月	4,335
12月	1,831
2023年1月	1,240
2月	1,818
3月	3,116

※4月21日のリニューアルオープンから



## その他

### ■高齢者・身体障害者等の利用に対する配慮

車椅子を5台配置

拡大鏡(ルーペ)を1個配置(アートライブラリー)

ベビーカーを2台配置

赤ちゃん休憩室の設置

杖を5本配置

### ■無料観覧日

実施日数3日

2022年

5月1日(日) 市制施行記念日(コレクション展示無料)

来場者数 1,832人中 コレクション展示 1,147人

2023年

2月14日(火) バレンタインデー(男性はコレクション展示無料)

来館者数 189人中 男性 83人

3月14日(火) ホワイトデー(女性はコレクション展示無料)

来館者数 481人中 女性 142人

### ■市民モニター制度

市民の声を美術館運営に反映していくことを目的とし、毎年、市広報により公募して委嘱。通年にわたり美術館を利用いただき、展覧会の内容や施設の管理運営、スタッフの接遇等について率直な意見等をアンケートで回答していただくもの。

アンケート結果は、全職員に回覧し、意見等について共有化を図るとともに、全アンケート結果を集計し、館内で閲覧ができるようにしている。

人数：18人(男性4人、女性14人)

期間：2022年5月7日(土)～2023年3月31日(金)

アンケート提出回数：企画展毎(2022年度は4回)、通年1回

### ■その他

中学生以下、障がい者手帳携帯者とその介助者1名まで観覧料無料

70歳以上の松本市民は、コレクション展示の観覧料無料、企画展の観覧料割引



# 開館状況・観覧者数一覧

## 開館状況

開館日数／297日

休館日数／68日

内訳 月曜日 42日 ※月曜休日の場合は翌平日

年末年始 6日 [2022年12月29日(木)～2023年1月3日(火)]

大規模改修による休館 20日 [2022年4月1日(金)～4月20日(水)]

## 観覧者数一覧

(展覧会別観覧者数は4ページ「展覧会一覧」に掲載)

## 月別観覧者数

年	月	日数	有料 (人)	無料 (人)	入場者総数 (人)	1日平均 (人)
2022	4	9	4,937	1,145	6,082	676
	5	27	17,303	5,282	22,585	836
	6	26	12,086	2,458	14,544	559
	7	27	9,558	2,225	11,783	436
	8	31	21,225	5,197	26,422	852
	9	26	14,782	3,615	18,397	708
	10	26	12,043	3,026	15,069	580
	11	26	13,613	4,685	18,298	704
2023	12	24	6,096	867	6,963	290
	1	24	4,538	737	5,275	220
	2	24	6,708	1,233	7,941	331
	3	27	11,391	3,324	14,715	545
合 計		297	134,280	33,794	168,074	566

## 学校関係減免観覧者数

区 分	件数(件)	人数(人)
幼稚園・保育園	2	64
小学校	21	1,131
中学校	29	2,002
高 校	13	199
大学・専門	8	216
養護学校	1	16
その他	1	35
合 計	75	3,663



# 沿革

(大正末期)	松本美術会の援助の下に当地方出身画家の60余点の作品を蒐集した展覧会を開催し、松本市美術館の建設を企てる
1993年(平成5年) 3月	美術館基本構想策定に向けて美術館基本構想策定委員会を設置、1994(平成6)年11月「松本市にふさわしい美術館像について」提言を受理
1996年(平成8年) 6月	美術館建設の候補地として中央4丁目旧警察跡地外に決定
11月	美術館懇話会を設置、1997(平成9)年1月「懇話会報告書」を受理
1997年(平成9年) 3月	「(仮称)松本市美術館基本構想」を策定
7月	「(仮称)松本市美術館資料収集選定委員会」を設置 美術資料の収集に努める
9月	美術館建設検討委員会を設置 美術館の機能等について指導を受ける
1998年(平成10年) 3月	「(仮称)松本市美術館基本計画」策定
6月	プロポーザル方式により、宮本忠長建築設計事務所に設計を委託
8月	美術館外構整備研究会を設置 外構整備の在り方について調査研究
1999年(平成11年) 7月	1998(平成10)年12月基本設計を市議会に報告、引き続き実施設計に着手、完了
10月	新築工事起工式
2000年(平成12年) 10月	「松本市美術館開設市民研究会」を設置 美術館管理運営について調査研究
2001年(平成13年) 7月	米倉守松本市美術館館長就任
9月	「松本市美術館条例」制定
10月	建物工事完成
2002年(平成14年) 3月	建設工事竣工
4月	開館
8月	博物館登録
2003年(平成15年) 5月	社団法人照明学会照明普及賞(優秀施設賞)受賞
11月	社団法人建築業協会第44回建築業協会賞受賞
2004年(平成16年) 6月	松本市美術館の建築で設計者宮本忠長が日本芸術院賞を受賞
2009年(平成21年) 4月	竹内順一松本市美術館館長就任
2010年(平成22年) 6月	社団法人公共建築協会第12回公共建築賞優秀賞受賞
10月	重要文化財公開承認施設として承認される(～2015(平成27)年10月)
2013年(平成25年) 3月	竹内順一松本市美術館館長退任
4月	小川稔松本市美術館館長就任
2021年(令和3年) 4月	休館。機能回復を目的とした大規模改修工事を実施
2022年(令和4年) 4月	リニューアルオープン

# 施設

## [ 建築概要 ]

建設場所	松本市中央4丁目2番22号
設計	株式会社宮本忠長建築設計事務所
施工	
建築工事	間・松本岡谷・ノグチ特定建設工事共同企業体
電気設備工事	関電工・西電設特定建設工事共同企業体
機械設備	須賀・大和特定建設工事共同企業体
植栽工事	有限会社東花園 株式会社信州グリーン 株式会社奥原造園 株式会社緑化センター 株式会社シンヨー 有限会社竜松園
映像設備	株式会社丹青社
収蔵ラック類	株式会社シマコー
敷地面積	10,185.92 m <sup>2</sup>
建築面積	3,495.62 m <sup>2</sup>
延床面積	7,741.87 m <sup>2</sup>
主構造	鉄筋コンクリート造3階(一部4階)
建築費	
本体・外構工事費	5,810,000千円
設計、監理費	237,800千円
植栽工事費	132,000千円
附帯工事費	32,000千円

## [ 部門別構成と面積概要 ]

<b>展示部門</b>	<b>2,583.18 m<sup>2</sup></b>
コレクション展示室	978.89 m <sup>2</sup>
企画展示室	1,007.52 m <sup>2</sup>
上條信山記念展示室	247.65 m <sup>2</sup>
田村一男記念展示室	247.65 m <sup>2</sup>
池上百竹亭コレクション展示室	39.46 m <sup>2</sup>
オープンギャラリー	62.01 m <sup>2</sup>
<b>教育普及部門</b>	<b>920.04 m<sup>2</sup></b>
アトライブラリー	60.70 m <sup>2</sup>
多目的ホール	220.00 m <sup>2</sup>
市民ギャラリーA	169.67 m <sup>2</sup>
市民ギャラリーB	169.67 m <sup>2</sup>
市民アトリエ	99.89 m <sup>2</sup>
講座室	96.75 m <sup>2</sup>
版画室	53.78 m <sup>2</sup>
こども創作館	49.58 m <sup>2</sup>
<b>収蔵部門</b>	<b>705.43 m<sup>2</sup></b>
収蔵庫	586.46 m <sup>2</sup>
一時保管庫	118.97 m <sup>2</sup>
<b>管理部門</b>	<b>381.98 m<sup>2</sup></b>
<b>学芸研究室</b>	<b>348.27 m<sup>2</sup></b>
<b>共用サービス部門</b>	<b>2,199.52 m<sup>2</sup></b>
エントランスホールその他共用部分	1,997.99 m <sup>2</sup>
レストラン	93.45 m <sup>2</sup>
ミュージアムショップ	83.12 m <sup>2</sup>
赤ちゃん休憩室	24.46 m <sup>2</sup>
<b>市民創造ひろば</b>	<b>393.00 m<sup>2</sup></b>

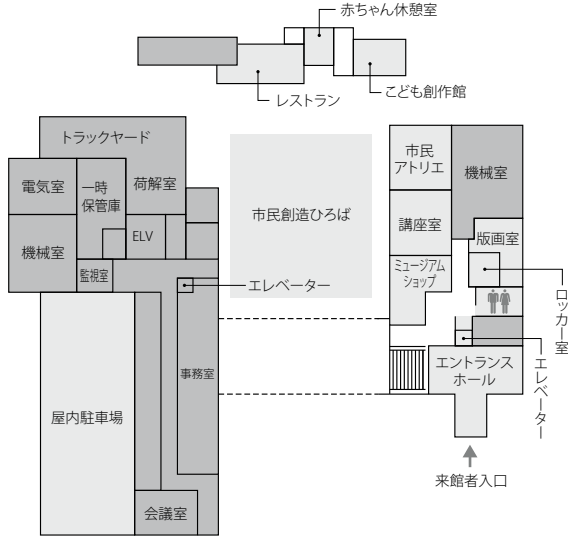
駐車台数	普通車 67 台
	バス 4 台



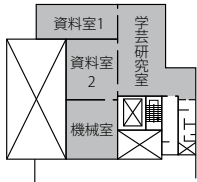
松本市美術館平面図

[ 1F ]

1階フロアは学習活動を支援する市民アトリエ、講座室、版画室等教育普及機能を備えている。また、別棟にはこども創作館、赤ちゃん休憩室を設けている。

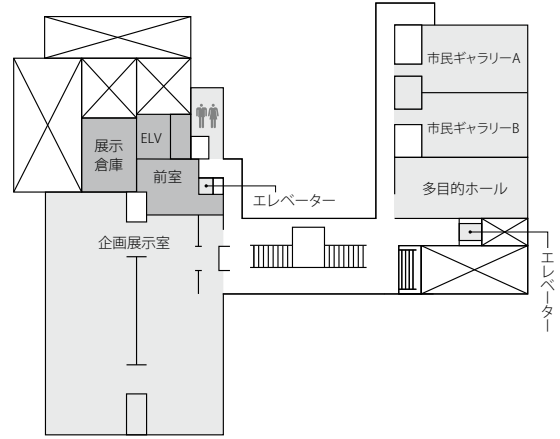


[ 中 3F ]



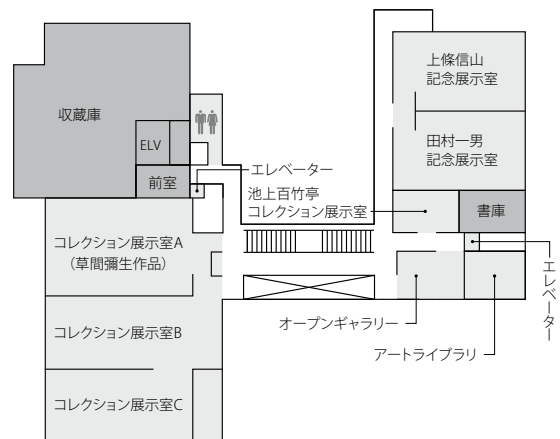
[ 2F ]

2階フロアは企画展示室、多目的ホール、市民ギャラリーから構成され、動きのあるフロアとなっている。企画展示室は国内外の貴重な美術品を展示する機能と規模を有している。



[ 3F ]

3階フロアは草間彌生作品の他、松本市美術館所蔵の美術資料を中心に展示している。特に、名誉市民であり文化功労者の上條信山、田村一男両氏の記念展示室、また池上百竹亭コレクションの展示室を設けている。また、図書室区画は2021年の改修でコンパクトで利用しやすいレイアウトに変更し、オープンギャラリーのスペースを新設した。



# 関係委員・職員名簿

2022(令和4)年度 松本市美術館美術資料等選定委員会委員

職名	氏名	役職等
委員長	島 敦彦	国立国際美術館館長
委員	浅井京子	元早稲田大学會津八一記念博物館特任教授
委員	原田 光	美術評論家
委員	滝澤正幸	元上田市立美術館館長
委員	松本 透	長野県立美術館館長
委員	木本文平	碧南市藤井達吉現代美術館館長
委員	草薙奈津子	平塚市美術館特別館長

(2022年11月26日現在)

2022(令和4)年度 松本市美術館職員

職名	氏名
館長	小川 稔
副館長	羽田野 昌司
課長補佐(企画運営担当係長)	東山 睦子
企画運営担当(9月まで)	堀井 亮彦
企画運営担当(10月から)	鳥羽 大地
庶務担当(財団職員)(9月まで)	岡田 直美
庶務担当(財団職員)(12月から)	高木 由美
貸館担当(財団職員)	阿部 結花
貸館担当(財団職員)(9月まで)	丸山 さちの
貸館担当(財団職員)(10月から)	中川 あゆみ
課長補佐(美術担当係長 学芸員)	大島 武
課長補佐(美術担当係長 学芸員)	武藤 美紀
美術担当係長(学芸員)	澁田 見彰
美術担当(学芸員)	稲村 純子
美術担当(学芸員)	大西 哲理
美術担当	村上 萌
美術担当(学芸員)	林 風美
ショップ担当(店長)(財団職員)	鬼頭 千佳
ショップ担当(財団職員)	滝澤 春江
ショップ担当(財団職員)	中山 美由紀

(2023年3月31日現在)

※財団：(一財)松本市芸術文化振興財団

# 関係例規

## 松本市美術館条例

平成13年9月28日  
条例第64号

(目的)

第1条 この条例は、市民の美術に関する教養を高め、芸術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条及び地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第244条の2の規定に基づき、松本市美術館(以下「美術館」という。)の設置及び管理等について必要な事項を定めることを目的とする。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
松本市美術館	松本市中央4丁目2番22号

(休館日及び開館時間)

第3条 美術館の休館日及び開館時間は、次のとおりとする。ただし、市長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(1) 休館日

ア 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、当該日以後の休日に当たらない最初の日)

イ 12月29日から翌年の1月3日まで

(2) 開館時間

ア 美術館の施設のうち別表第3に掲げる施設 午前9時から午後9時まで

イ ア以外の美術館の施設 午前9時から午後5時まで

(入館の制限)

第4条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(1) 美術館の施設及び設備(以下「施設等」という。)又は美術品及び美術に係る資料(以下「美術品等」という。)を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(3) 他人に迷惑を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。

(4) 第12条の規定に違反したとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に不適当と認めるとき。

(観覧料等)

第5条 美術館の展示を観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、観覧料をその都度納入しなければならない。

2 観覧料は、別表第1に定める額とする。

(特別観覧料等)

第6条 学術研究その他の教育的目的のため、美術品等の熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用(以下「特別観覧」という。)をしようとする者は、あらかじめ市長に申請し、許可を受けなければならない。許可を受けた事項の変更又は取消しをしようとするときも、同様とする。

2 前項の許可を受けた者(以下「特別観覧者」という。)は、当該許可を

受けたときに特別観覧料を納入しなければならない。ただし、市長が特に認めるときは、この限りでない。

3 特別観覧料は、別表第2に定める額とする。

(施設等の使用料等)

第7条 別表第3に掲げる施設等を使用しようとする者は、あらかじめ市長に申請し、許可を受けなければならない。許可を受けた事項の変更又は取消しをしようとするときも、同様とする。

2 前項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、当該許可を受けたときに施設等の使用料(以下「使用料」という。)を納入しなければならない。ただし、市長が特に認めるときは、この限りでない。

3 使用料は、別表第3に定める額とする。

(特別観覧及び施設等の使用の制限)

第8条 市長は、第4条各号のいずれかに該当すると認めるときは、特別観覧の許可又は施設等の使用の許可をしないことができる。

2 市長は、特別観覧の許可又は施設等の使用の許可をするときは、美術館の管理上必要な条件を付すことができる。

(特別観覧及び施設等の使用の停止)

第9条 市長は、特別観覧者又は使用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、特別観覧又は施設等の使用を停止し、又は許可を取り消すことができる。この場合において、特別観覧者又は使用者に生じた損害については、市長はその責を負わない。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。

(2) 許可の条件に違反したとき。

(3) 特別観覧及び施設等の使用の目的以外に特別観覧し、又は使用したとき。

(4) 特別観覧及び施設等を使用する権利を譲渡し、又は転貸したとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に不適当と認めるとき。

(観覧料等の減免)

第10条 市長は、特別の理由があると認めるときは、観覧料、特別観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)を減免することができる。

(観覧料等の還付)

第11条 既に納めた観覧料等は還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その一部又は全部を還付することができる。

(行為の禁止)

第12条 観覧者、特別観覧者及び使用者(以下「観覧者等」という。)は、市長の許可を得ないで次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 施設等の原状を変更すること。

(2) 飲酒すること又は指定された場所以外で喫煙等火気を使用すること。

(3) 物品を販売すること。

(4) 広告又はこれに類するはり紙等を表示すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に不適当と認められたこと。

(原状回復の義務)

第13条 使用者は、施設等の使用を終了したとき又は使用を停止し、若しくは使用の許可を取り消されたときは、直ちに施設等を原状に回復しなければならない。

2 使用者が前項の義務を履行しないときは、市長がこれを代行し、その費用を使用者から徴収する。

(損害賠償)

第14条 観覧者等は、施設等又は美術品等を損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

2 前条第2項の規定は、観覧者等が前項の義務を履行しない場合に準用する。

(指定管理者による管理)

第15条 美術館の管理は、法第244条の2第3項の規定により、指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)にこれを行わせることができる。

2 指定管理者は、松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例(平成15年条例第46号)第3条第1項各号のいずれにも該当し、かつ、美術館の運営を行う能力及び実績を有するものとする。

3 第3条の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、美術館の休館日又は開館時間を変更することができる。

4 指定管理者は、前項の規定により美術館の休館日又は開館時間を変更したときは、変更後の休館日又は開館時間を美術館において公衆の見やすいように掲示しなければならない。

5 第1項の規定により美術館の管理を指定管理者に行わせる場合における第4条、第6条から第9条まで及び第12条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは、「指定管理者」と読み替えるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第16条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1)美術館の観覧及び使用の許可に関する業務
- (2)美術館の施設等の維持管理に関する業務
- (3)前2号に掲げるもののほか、美術館の運営に関する事務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務

(廃止)

第17条 美術館を廃止しようとするときは、議会において出席議員の3分の2以上の者の同意を得なければならない。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月21日から施行する。

(準備行為)

2 施設等を使用する使用者への許可に関する手続その他この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

附 則(平成15年12月18日条例第108号)

(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の松本市美術館条例の規定により受けたこの条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の特別観覧及び施設等の使用の許可は、この条例による改正後の松本市美術館条例(以下「新条例」という。)の規定により受けた特別観覧及び施設等の使用の許可とみなす。

3 新条例第7条、第8条、別表第2及び別表第3の規定は、施行日以後の特別観覧及び使用に係るものから適用し、施行日前の特別観覧及び使用に係るものについては、なお従前の例による。

附 則(平成18年3月16日条例第35号)

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の別表第3の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の使用に係るものから適用し、施行日前の使用に係るものについては、なお従前の例による。

附 則(平成20年9月29日条例第57号)

この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月19日条例第83号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月14日条例第111号)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の別表第3の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものから適用し、施行日以後の使用に係る使用料で施行日前に納入するもの及び施行日前の使用に係る使用料で施行日以後に納入するものについては、なお従前の例による。

附 則(平成31年3月18日条例第110号)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の別表第2及び別表第3の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の許可に係る特別観覧料又は使用に係る使用料(以下「特別観覧料等」という。)で施行日以後に納入するものから適用し、施行日以後の特別観覧料等で施行日前に納入するもの及び施行日前の特別観覧料等で施行日以後に納入するものについては、なお従前の例による。

附 則(令和3年3月22日条例第14号)抄

(施行期日)

1 この条例は、令和3年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。(松本市美術館条例の一部改正に伴う経過措置)

3 この条例の施行の際、現に前項の規定による改正前の松本市美術館条例の規定により松本市教育委員会によりなされた処分、手続その他の行為で現にその効力を有するもの又は施行日前に松本市教育委員会に対してなされている申請その他の行為は、前項の規定による改正後の松本市美術館条例の規定により市長によりなされた処分、手続その他の行為又は市長に対してなされている申請その他の行為とみなす。

附 則(令和4年2月9日条例第11号)

この条例は、令和4年4月1日から施行する。

別表第1(第5条関係)

区 分		大 人	大学生・高校生
常設展示	個人	410円	200円
	団体(20人以上)	310円	100円
特別展示		市長がその都度定める額	

別表第2（第6条関係）

区 分	単 位	金 額
熟覧	1点1日あたり	520円
模写・模造		2,200円
撮影（学術研究用）	1点	520円
撮影（その他）		3,240円
原板使用（学術研究用）	1枚	520円
原板使用（その他）		2,200円

別表第3（第3条、第7条関係）

## (1) 施設

使用区分	午 前	午 後	夜 間	午前～午後	午後～夜間	全 日
	9:00～12:30	13:00～17:00	17:30～21:00	9:00～17:00	13:00～21:00	9:00～21:00
企画展示室	—	—	—	—	—	49,230円
常設展示室B	—	—	—	—	—	14,240円
常設展示室C	—	—	—	—	—	13,200円
市民ギャラリー A	—	—	—	—	—	8,800円
市民ギャラリー B	—	—	—	—	—	8,800円
市民創造ひろば 美術館関連イベントに使用 上記以外（1㎡あたり）	— —	— —	— —	— —	— —	4,190円 70円
多目的ホール ギャラリーとして使用 上記以外	— 4,400円	— 5,440円	— 6,600円	— 9,320円	— 11,410円	7,850円 14,770円
講座室	940円	1,040円	1,150円	1,880円	1,990円	2,820円
市民アトリエ	940円	1,040円	1,150円	1,880円	1,990円	2,820円
版画室	940円	1,040円	1,150円	1,880円	1,990円	2,820円
会議室	940円	1,040円	1,150円	1,880円	1,990円	2,820円
子供創作館 ギャラリーとして使用 上記以外	— 410円	— 520円	— 620円	— 830円	— 1,040円	2,090円 1,360円

## 備考

- 800円を超える入場料又はこれに類するものを徴収して施設を使用するときの金額は、当該区分に定める額の100分の200に相当する額とする。
- こども創作館をギャラリーとして使用する場合は、展示用の器具代を含む。
- 算出した額に10円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

## (2) 冷暖房

区分	単位	金額
企画展示室	1回	8,800円
常設展示室B		2,610円
常設展示室C		2,300円
市民ギャラリー A		1,570円
市民ギャラリー B		1,570円
多目的ホール		2,200円
講座室		730円
市民アトリエ		730円
版画室		730円
会議室		730円
子供創作館		310円

備考 1回とは、午前・午後・夜間をそれぞれ単位とする。

## (3) 器具

市長が別に定める額

## 松本市美術館条例施行規則

令和3年3月31日  
規則第80号

(目的)

第1条 この規則は、松本市美術館条例(平成13年条例第64号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めることを目的とする。

(特別観覧の申請等)

第2条 条例第6条の申請は、松本市美術館特別観覧許可申請書(様式第1号)、松本市美術館特別観覧許可変更・取消申請書(様式第2号)により行うものとする。

2 条例第6条の許可は、松本市美術館特別観覧許可書兼領収書(様式第3号。以下「特別観覧許可書」という。)、松本市美術館特別観覧許可変更・取消許可書兼領収書(様式第4号)の交付により行うものとする。

3 特別観覧の許可を受けた事項の変更又は取消しの申請をするときは、特別観覧許可書を添付するものとする。

4 特別観覧を許可された者が特別観覧をするときは、第2項の許可書を職員に提示し、市長が指定する場所において行わなければならない。

(使用の申請等)

第3条 松本市美術館(以下「美術館」という。)の施設又は設備(以下「施設等」という。)の使用の申込期間は、別表第1に定めるところによる。ただし、市長が特に認めたときは、この限りでない。

2 条例第7条の申請は、松本市美術館使用許可申請書(様式第5号)、松本市美術館使用許可変更・取消申請書(様式第6号)により行うものとする。

3 条例第7条の許可は、松本市美術館使用許可書兼領収書(様式第7号。以下「使用許可書」という。)、松本市美術館使用許可変更・取消許可書兼領収書(様式第8号)の交付により行うものとする。

4 使用の許可を受けた事項の変更又は取消しの申請をするときは、使用許可書を添付するものとする。

5 使用を許可された者が施設等を使用するときは、第3項の許可書を職員に提示しなければならない。

(使用期間)

第4条 企画展示室、常設展示室B、常設展示室C、市民ギャラリーA、市民ギャラリーB、市民創造ひろば、多目的ホール(ギャラリーとして使用する場合に限る。)及び子供創作館(ギャラリーとして使用する場合に限る。)を使用する場合の使用期間は、原則として1週間を単位とし、同一人の引き続き2週間を超える使用については、許可しない。ただし、市長が特に認めたときは、この限りでない。

(使用料)

第4条の2 条例別表第3第3号に規定する市長が別に定める額は、別表第2のとおりとする。

(減免)

第5条 条例第10条に規定する観覧料等の減免(以下「観覧料等の減免」という。)の対象事由及び減免額は、別表第3に定めるところによる。

2 観覧料等の減免を受けようとする者(以下「減免の申請者」という。)は、松本市美術館観覧料減免申請書(様式第9号)、松本市美術館特別観覧料減免申請書(様式第1号)、松本市美術館使用料減免申請書(様式第5号)を市長に提出しなければならない。

3 前項の申請に対して観覧料等の減免を決定したときは、減免の申請者に対し、松本市美術館観覧料減免決定書(様式第10号)、松本市美術館特別観覧料減免決定書(様式第3号)、松本市美術館使用料減免決定

書(様式第7号)を交付する。

4 前2項の規定にかかわらず別表第3観覧料の項第1号、第2号及び第4号に定める対象事由に該当する者は、当該対象事由を申告し、承認を受けるものとする。

(還付)

第6条 条例第11条ただし書に規定する観覧料等の還付(以下「観覧料等の還付」という。)の対象事由及び還付額は、別表第4に定めるところによる。

2 観覧料等の還付を受けようとする者(以下「還付の申請者」という。)は、松本市美術館観覧料還付申請書(様式第11号)、松本市美術館特別観覧料還付申請書(様式第2号)、松本市美術館使用料還付申請書(様式第6号)を市長に提出しなければならない。

3 前項の申請に対して観覧料等の還付を決定したときは、還付の申請者に対し、松本市美術館観覧料還付決定書(様式第12号)、松本市美術館特別観覧料還付決定書(様式第4号)、松本市美術館使用料還付決定書(様式第8号)を交付する。

(立入り等)

第7条 市長は、美術館の管理上必要があると認めたときは、使用中の美術館の施設内に立入り、使用者に対し必要な指示を行うことができる。

(読替規定)

第8条 条例第15条第1項の規定により美術館の管理を指定管理者(地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせる場合における第2条から第4条まで及び前条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(補則)

第9条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日前に、廃止前の松本市美術館条例施行規則(平成13年松本市教育委員会規則第12号)の規定によりなされた処分、手続きその他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(令和4年3月22日規則第6号)

(施行期日)

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則による改正前の松本市美術館条例施行規則の規定による様式は、当分の間、この規則による改正後の松本市美術館条例施行規則の規定による様式とみなす。

別表第1（第3条関係）

区 分	申込期間
企画展示室 常設展示室B 常設展示室C 市民ギャラリーA 市民ギャラリーB 市民創造ひろば 多目的ホール (ギャラリーとして 使用する場合) 子供創作館 (ギャラリーとして 使用する場合)	市内に在住・在勤する者 及び主に市内で活動して いる団体  使用日の6カ月前から 前日まで
上記以外の施設	上記以外の者及び団体  使用日の4カ月前から 前日まで
上記以外の施設	市内に在住・在勤する者 及び主に市内で活動して いる団体  使用日の3カ月前から 前日まで
上記以外の施設	上記以外の者及び団体  使用日の2カ月前から 前日まで

別表第2（第4条の2関係）

区 分	単 位	金 額	
多目的ホール	1 式 1 回	2,200 円	
講座室		1,570 円	
版画室		1,040 円	
企画展示室 常設展示室B 常設展示室C 市民ギャラリーA 市民ギャラリーB 多目的パネル	スポットライト	1 個 1 日	100 円
展示パネル	1 枚 1 日	100 円	
持込み電気機器	1 kw1 回	520 円	

## 備考

- 1 1回とは、条例別表第3第1号に定める午前・午後・夜間をそれぞれ単位とする。
- 2 この表に掲げる器具（スポットライト及び展示パネルを除く。）を条例別表第3第1号に定める午前～午後、午後～夜間又は全日について使用する場合は、次のとおりとする。

区 分	金 額
午前～午後又は 午後～夜間	1 回当たりの使用料をそれぞれ加算した額の 100 分の 95 に相当する額
全 日	1 回当たりの使用料をそれぞれ加算した額の 100 分の 90 に相当する額

- 3 前項の規定において算出した額に 10 円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第3（第5条関係）

区 分	対象事由	減免額
観覧料	(1)市内に住所を有する 70 歳以上の者	全 額
	(2)障害者（障害者基本法（昭和 45 年法律第 84 号）第 2 条に規定する障害者をいう。）及び介助者（1 名）	全 額
	(3)学校教育の一環として、担当教諭が引率して観覧する大学生・高校生及び大学生以下の者を引率する教諭	全 額
	(4)その他市長が特に必要と認めた者	市長の必要と認めた額
特別観覧料	市長が特に必要と認めたとき	市長の必要と認めた額
使用料	(1)市の主催事業に使用するとき	全 額
	(2)国、県及び他の地方公共団体が市と共同して使用するとき	全 額
	(3)市の共催事業に使用するとき	100 分の 70 を乗じた額 (冷暖房使用料を除く。)
	(4)社会教育関係団体が使用するとき	100 分の 70 を乗じた額 (冷暖房使用料を除く。)
	(5)その他市長が特に必要と認めた者	100 分の 50 を乗じた額 (冷暖房使用料を除く。)

## 備考

- 1 この表において「大学・高校生」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、同法第124条に規定する専修学校、その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。
- 2 算出した額に10円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第4（第6条関係）

区 分	対象事由	還付額
観覧料	市長が特に必要と認めたとき	市長の必要と認めた額
特別観覧料	市長が特に必要と認めたとき	市長の必要と認めた額
使用料	(1)使用者の責でない理由により、使用することができなかつたとき	全 額
	(2)使用する日以前 20 日前までに第 3 条第 2 項の規定により使用の変更又は取消しをしたとき	全 額
	(3)使用する日以前 10 日前までに第 3 条第 2 項の規定により使用の変更又は取消しをしたとき	100 分の 50 を乗じた額
	(4)その他市長が特に必要と認めたとき	市長の必要と認めた額

備考 算出した額に10円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。





様式第 10 号

様式第 10 号(第 5 条関係) 松本市美術館観覧料減免決定書

許可番号

年 月 日	住所	
	団体名	
	氏名	
	電話 ( ) -	

次のとおり、松本市美術館条例第10条の規定により、松本市美術館観覧料の減免をします。

観覧日時	年 月 日	午前 時 分～午後 時 分まで
観覧人員		人
理由		

年 月 日

観覧料	減免額	備考
円	円	

様式第 11 号

様式第 11 号(第 6 条関係) 松本市美術館観覧料寄付申請書

許可番号

年 月 日 (印鑑)	住所	
	団体名	
	氏名	
	電話 ( ) -	

次のとおり、松本市美術館の観覧料の寄付を申請します。

納付年月日	年 月 日	寄付決定内容	<input type="checkbox"/> 条例第10条の規定により寄付します。 <input type="checkbox"/> 条例第10条ただし書の規定により寄付します。
納付金額	円		
寄付申請額	円		
寄付申請理由		寄付決定額	円
		備考	

実務上の記載に注意してください。

様式第 12 号

様式第 12 号(第 6 条関係) 松本市美術館観覧料寄付決定書

許可番号

年 月 日	住所	
	団体名	
	氏名	
	電話 ( ) -	

次のとおり、松本市美術館の観覧料の寄付をします。

納付年月日	年 月 日	寄付決定内容	<input type="checkbox"/> 条例第10条の規定により寄付します。 <input type="checkbox"/> 条例第10条ただし書の規定により寄付します。
納付金額	円		
寄付申請額	円		
寄付申請理由		寄付決定額	円
		備考	

## 松本市美術館美術資料等収集要綱

令和3年3月26日

告示第129号

(目的)

第1条 この要綱は、松本市美術館において収集する美術作品及び美術に関する資料(以下「美術資料等」という。)を適性かつ円滑に収集するために必要な事項を定めることを目的とする。

(収集)

第2条 美術資料等の収集は、購入、寄贈、寄託によるものとする。

2 収集する美術資料等は、原則として次の各号のいずれかに該当する美術資料等とする。

- (1) 郷土出身の作家、松本にゆかりのある作家及び関連する美術資料等
- (2) 松本を中心とした信州の自然、風土、歴史にかかわる美術資料等
- (3) 山岳等をテーマとした国内外の美術資料等
- (4) 音楽にちなんだ美術資料等
- (5) その他、市長が必要と認めた美術資料等

(松本市美術館美術資料等選定委員会)

第3条 市長は、松本市美術館美術資料等選定委員会(以下「選定委員会」という。)を設置し、美術資料等の収集に当たり、適性な選定及び評価を必要とする美術資料等について、意見を求めるものとする。

- 2 選定委員会の委員(以下「委員」という。)の定数は7人以内とする。
- 3 委員は、美術に関し学識経験のある者のうちから市長が選任した者をもって充てる。
- 4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第4条 市長は、選定委員会の求めに応じ専門的な調査を必要とする美術資料等について、当該美術資料等に関し学識経験を有する者(以下「評価員」という。)に調査を委任するものとする。

(評価員)

第5条 評価員は、市長が選任する。

- 2 評価員は、委任する調査事項が終了したとき解任する。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この告示の施行の際、現に廃止前の松本市美術館美術資料等収集要綱(平成9年教育委員会告示第15号)第3条の規定により委員に選任されている者は、この告示の相当規定により委員に選任されたものとみなす。

## 松本市美術館美術資料等選定委員会運営要領

(目的)

第1条 この要領は、松本市美術館美術資料等選定委員会(以下「選定委員会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(委員長)

第2条 選定委員会に委員長1名を置き、委員の互選によって定める。

- 2 委員長は、選定委員会を代表し、会務を総理する。

- 3 委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第3条 選定委員会は、委員長が招集する。

- 2 選定委員会の会議は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。ただし、委員長が必要と認めるときは、この限りではない。
- 3 選定委員会の議事は、出席委員の過半数以上で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(業務)

第4条 選定委員会は、市長の求めに応じて、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 本市において収集する美術作品及びその他美術に関する資料(以下「美術資料等」という。)の選定及び評価に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、美術資料等の収集に関すること。

(委任)

第5条 選定委員会は、審議において専門的な調査を必要とする美術資料等について、市長に調査を求めることができる。

(庶務)

第6条 選定委員会の事務は、文化観光部美術館において処理する。

(補則)

第7条 この要領に定めるもののほか選定委員会の運営に必要な事項は、市長が別に定める。

# 利用案内

## [ 開館時間 ]

観覧時間

午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

施設利用時間

教育普及施設の利用は午前9時～午後9時

## [ 休館日 ]

月曜日（休日の場合は翌平日）

年末年始

## [ 観覧料 ]

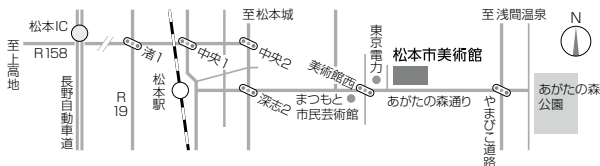
コレクション展示／大人410円 高校生・大学生200円

- ・20名以上の団体は100円引き
- ・中学生以下・70歳以上の松本市民無料
- ・障がい者手帳携帯者とその介助者1名無料

企画展示／展覧会によって異なる。

## [ 交通 ]

- 松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横田信大循環線5分  
「松本市美術館」下車
- JR松本駅からタウンズニーカー（市内周遊バス）東コース7分  
「伊織霊水（美術館北）」下車 徒歩5分
- JR松本駅から徒歩12分
- 長野自動車道松本インターチェンジから車で15分



## [ ミュージアムショップ ]

TEL / FAX : 0263-39-7408（直通）

営業時間：午前9時～午後5時

定休日：美術館休館日に同じ

## [ カフェ・レストラン ]

SYOKUDO & CAFÉ yum-yum

TEL : 090-7753-8686

営業時間：ランチ 午前11時～午後2時30分

カフェ 午後2時30分～午後5時

ディナー 要予約

日曜日はランチ、カフェのみ

定休日：美術館休館日に同じ

**松本市美術館年報**  
**2022(令和4)年度**

2024年3月1日発行

デザイン／川越印刷株式会社

編集・発行／松本市美術館

〒390-0811 長野県松本市中央4丁目2-22  
TEL.0263-39-7400 FAX.0263-39-3400